

教育委員会

決算書 ページ	事業説明書 ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和6年度担当課)
90	1	702201	総務費	交通安全対策費	通学路安全対策施設整備事業	学校教育課
160	2	020106	教育費	教育委員会費	教育委員報酬	教育総務課
160	3	081101	教育費	事務局費	教育財産管理事業	教育総務課
160	4	500101	教育費	事務局費	事務局運営事業	教育総務課
160	5	500401	教育費	事務局費	スクールバス運行事業	教育総務課
160	6	500801	教育費	事務局費	市オリジナル体操推進事業	教育総務課
162	7	500501	教育費	教育振興費	教育相談事業	学校教育課
162	8	500601	教育費	教育振興費	教育研究所運営事業	学校教育課
162	9	500701	教育費	教育振興費	教育支援ルーム運営事業	学校教育課
162	10	501101	教育費	教育振興費	教育指導事業（共通）	学校教育課
162	11	501201	教育費	教育振興費	小学校教育指導事業	学校教育課
162	12	501301	教育費	教育振興費	中学校教育指導事業	学校教育課
162	13	501303	教育費	教育振興費	中学生チャレンジウィーク事業	学校教育課
162	14	502101	教育費	教育振興費	外国語指導助手（ALT）配置事業	学校教育課
162	15	502102	教育費	教育振興費	小学校外国語教育事業	学校教育課
162	16	502201	教育費	教育振興費	特別支援教育推進事業	学校教育課
162	17	502203	教育費	教育振興費	発達支援巡回相談事業	学校教育課
162	18	502301	教育費	教育振興費	小1すこやかサポーター配置事業	学校教育課
162	19	502501	教育費	教育振興費	スクーリング・ケアサポーター派遣事業	学校教育課
162	20	502601	教育費	教育振興費	臨時講師配置事業	学校教育課
162	21	502701	教育費	教育振興費	学校運営支援事業	学校教育課
162	22	502801	教育費	教育振興費	いじめ対策推進事業	学校教育課
162	23	502901	教育費	教育振興費	生きる力育みプラン推進事業	学校教育課
162	24	503001	教育費	教育振興費	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	学校教育課
162	25	503101	教育費	教育振興費	外国人児童生徒教育支援事業	学校教育課
162	26	503201	教育費	教育振興費	学校安全総合支援事業	学校教育課
162	27	503302	教育費	教育振興費	学校司書配置事業	学校教育課
162	28	503401	教育費	教育振興費	地域部活動推進事業	学校教育課
162	29	080101	教育費	学校管理費	小学校施設維持管理事業	教育総務課
162	30	540101	教育費	学校管理費	小学校運営事業	教育総務課
162	31	540102	教育費	学校管理費	新型コロナウイルス感染症対策事業	教育総務課
162	32	780103	教育費	学校管理費	島小学校施設整備事業	教育総務課
162	33	780107	教育費	学校管理費	北里小学校施設整備事業	教育総務課
162	34	780109	教育費	学校管理費	八幡小学校施設整備事業	教育総務課
162	35	780113	教育費	学校管理費	沖島小学校施設整備事業	教育総務課
162	36	780114	教育費	学校管理費	老蘇小学校施設整備事業	教育総務課
162	37	780120	教育費	学校管理費	小学校空調設備整備事業	教育総務課
162	38	780123	教育費	学校管理費	小学校防犯対策施設整備事業	教育総務課
164	39	055101	教育費	教育振興費	小学校要保護児童援助事業	学校教育課
164	40	055102	教育費	教育振興費	小学校準要保護児童援助事業	学校教育課
164	41	055201	教育費	教育振興費	小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
164	42	542101	教育費	教育振興費	小学校教育教材事業	教育総務課
164	43	542501	教育費	教育振興費	小学校G I G Aスクール構想推進事業	教育総務課
166	44	080201	教育費	学校管理費	中学校施設維持管理事業	教育総務課
166	45	560101	教育費	学校管理費	中学校運営事業	教育総務課
166	46	560102	教育費	学校管理費	新型コロナウイルス感染症対策事業	教育総務課
166	47	780202	教育費	学校管理費	八幡中学校施設整備事業	教育総務課
166	48	780205	教育費	学校管理費	八幡西中学校施設整備事業	教育総務課
166	49	780220	教育費	学校管理費	中学校空調設備整備事業	教育総務課
166	50	780223	教育費	学校管理費	中学校防犯対策施設整備事業	教育総務課

教育委員会

決算書 ページ	事業説明書 ページ	事業CD	款	目	事業名	担当課 (令和6年度担当課)
166	51	055301	教育費	教育振興費	中学校要保護生徒援助事業	学校教育課
166	52	055302	教育費	教育振興費	中学校準要保護生徒援助事業	学校教育課
166	53	055401	教育費	教育振興費	中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
166	54	562101	教育費	教育振興費	中学校教育教材事業	教育総務課
166	55	562501	教育費	教育振興費	中学校G I G Aスクール構想推進事業	教育総務課
168	56	600101	教育費	社会教育総務費	生涯学習推進事業	生涯学習課
168	57	600201	教育費	社会教育総務費	社会教育関係団体育成事業	生涯学習課
168	58	600501	教育費	社会教育総務費	コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	生涯学習課
168	59	600502	教育費	社会教育総務費	家庭教育支援基盤構築事業	生涯学習課
168	60	600503	教育費	社会教育総務費	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
168	61	600701	教育費	社会教育総務費	夫婦都市児童相互交流事業	学校教育課
174	62	604101	教育費	公民館費	公民館運営事業	生涯学習課
174	63	604301	教育費	青少年教育費	青少年育成事業	生涯学習課
174	64	604501	教育費	青少年対策費	青少年対策事業	生涯学習課
174	65	604601	教育費	青少年対策費	子ども・若者育成支援事業	生涯学習課
174	66	604701	教育費	少年センター運営費	少年センター運営事業	生涯学習課
174	67	604901	教育費	人権教育振興費	人権教育推進事業	生涯学習課
176	68	082201	教育費	図書館費	図書館施設維持管理事業	近江八幡図書館
176	69	605101	教育費	図書館費	図書館運営事業	近江八幡図書館
176	70	605301	教育費	図書館費	読書活動推進事業	近江八幡図書館
176	71	605401	教育費	図書館費	ブックスタート運営事業	近江八幡図書館
176	72	605601	教育費	図書館費	本のまち！動く図書館事業	近江八幡図書館
178	73	650101	教育費	学校保健費	学校保健管理運営事業	学校教育課
180	74	020108	教育費	体育振興費	スポーツ推進委員報酬	スポーツ課
180	75	651101	教育費	体育振興費	スポーツ振興推進事業	スポーツ課
180	76	651102	教育費	体育振興費	スポーツ教室運営事業	スポーツ課
180	77	651301	教育費	体育振興費	学校体育施設開放事業	スポーツ課
180	78	652301	教育費	体育振興費	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	国スポ・障スポ推進課
180	79	083101	教育費	学校給食費	給食センター施設維持管理事業	学校給食センター
180	80	655201	教育費	学校給食費	給食センター運営事業	学校給食センター
180	81	655301	教育費	学校給食費	学校給食費多子世帯補助事業	学校給食センター
180	82	785501	教育費	学校給食費	給食センター施設整備事業	学校給食センター
182	83	083501	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設維持管理事業	スポーツ課
182	84	083601	教育費	社会体育施設管理費	駅南総合スポーツ施設維持管理事業	スポーツ課
182	85	651501	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設一般管理事業	スポーツ課
182	86	652101	教育費	社会体育施設管理費	健康ふれあい公園施設管理運営事業	スポーツ課
182	87	785101	教育費	社会体育施設管理費	社会体育施設整備事業	スポーツ課
182	88	785105	教育費	社会体育施設管理費	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	国スポ・障スポ推進課

事業CD	702201	事業名	通学路安全対策施設整備事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	90	資料	無																
款	02	総務費	<成果・実績> 「通学路交通安全プログラム」において、通学路安全推進会議、通学路合同点検、対応策の決定というサイクルの仕組みを構築したことで、計画的に通学路の安全対策を実施することができました。また自治会要望のあった危険箇所についても、緊急を要する箇所に対して安全対策工事を実施しました。 令和3年度に実施した通学路緊急合同点検で確認した危険箇所についても、引き続き安全対策工事を行いました。 ○通学路合同点検箇所 38箇所	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 通学路合同点検</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 通学路安全対策工事</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 通学路合同点検	1	1	回	② 通学路安全対策工事	7	4	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 通学路合同点検	1	1						回															
② 通学路安全対策工事	7	4						件															
③																							
項	01	総務管理費																					
目	13	交通安全対策費																					
予算額(千円)	27,867																						
決算額(千円)	23,888																						
(前年決算	21,112)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
通学路の危険箇所を把握するため合同点検を行い、路面標示や防護柵の設置などの安全対策を実施しました。また千葉の事故を受けての緊急点検による安全対策を行いました。		<課題、今後の取り組み> 教育委員会で実施できる通学路安全対策工事はグリーンベルトや「通学路」の路面標示といった、運転者への注意喚起が中心となっています。交通安全教室による啓発や児童生徒への登下校時の指導等、ソフト面の取り組みは現在も行っていますが、今後も関係機関と連携して引き続き取り組んでいきます。																					
1																							
事業CD	020106	事業名	教育委員報酬	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	160	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育の中立性や安定性を確保し、重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、委員4名に報酬を支払いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 教育委員会定例会</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 教育委員会臨時会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③ 教育委員会委員報酬</td> <td>2,016</td> <td>2,016</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 教育委員会定例会	12	13	回	② 教育委員会臨時会	1	1	回	③ 教育委員会委員報酬	2,016	2,016	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 教育委員会定例会	12	13						回															
② 教育委員会臨時会	1	1						回															
③ 教育委員会委員報酬	2,016	2,016	千円																				
項	01	教育総務費																					
目	01	教育委員会費																					
予算額(千円)	2,016																						
決算額(千円)	2,016																						
(前年決算	2,016)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
教育の中立性や安定性を確保し重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、教育委員の提案等が教育政策に反映できる教育行政を推進しました。		<課題、今後の取り組み> 今後も教育の中立性や安定性を確保し、重要事項や方針を審議決定するため、教育委員会定例会等を開催し、遅滞なく報酬を支払います。																					
2																							

事業CD	081101	事業名	教育財産管理事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	160	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育財産の適切な維持管理を行い、マナビィの有効活用のため施設内の教室を提供することで、社会教育団体等の活動を支援しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援	6	6	団体	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① マナビィ提供による社会教育団体への活動支援	6	6						団体															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円)	1,192																						
決算額(千円)	1,063																						
(前年決算	1,169)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 教育財産の適切な維持管理とマナビィの有効活用のため、施設内の教室を提供することで、社会教育団体等の活動を支援しました。																							
3				<課題、今後の取り組み> マナビィは、築40年以上が経過し老朽化が進んでいることから、施設を解体し、その跡地利用について方針を決定する時期を迎えています。入居団体の移行完了までは利用団体と連携を行っていく必要があります。																			
事業CD	500101	事業名	事務局運営事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	160	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 1. 教育委員会活動の点検・評価 法に基づく取組として、「第2期近江八幡市教育振興基本計画」(以下「基本計画」という。)に定められた19施策に係る取組を所属で点検を行い、評価を実施しました。基本計画は令和4年度から執行して以降、初めての評価となることから、これまでの評価方法を一部見直したうえで、達成状況、各事業の施策への貢献度の2項目の観点で施策評価を行いました。 <評価方法> ・19施策について施策評価を実施。評価の制度を高めるため5施策についてヒアリングを実施。 ・評価結果は、報告書を作成したうえで、法に基づき市長・市議会へ報告。 ・評価課程で評価委員からの意見を基に、令和6年度の取組に反映。 2. その他 ・滋賀県都市教育委員会連絡協議会等で県内教育委員会との連携や情報共有により、効果的な業務の展開を行うことができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 点検・評価委員会の開催</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 点検・評価委員会の開催	2	2	回	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 点検・評価委員会の開催	2	2						回															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	02	事務局費																					
予算額(千円)	7,856																						
決算額(千円)	7,765																						
(前年決算	7,334)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 地域の実情に即した開かれた教育行政の推進のため、教育委員会会議の充実及び学校・地域の課題等の把握と掘り起こしに努めました。																							
4				<課題、今後の取り組み> 基本計画を更新して初めての点検・評価ということもあり、評価委員から次年度の取組への反映状況について明確にするよう意見をいただくとともに、昨今の状況に合わせた新たな取組の検討が必要であることから、点検・評価の結果等に基づき、社会情勢や現状の課題とすり合わせた取組の更新等を検討する必要があります。また、必要に応じて基本計画の見直しなどを検討する必要があります。																			

事業CD	500401	事業名	スクールバス運行事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	160	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	01	教育総務費	遠距離通学者の児童生徒を対象としたバス運行及び弾力化制度利用者を対象としたバス運行については、令和5年度バスの故障や事故等なく1年間安全に運行することができました。				
目	02	事務局費	【遠距離通学者対象者】 令和5年度 令和4年度				
		予算額(千円)	4,230	北里小学校	5人	6人	
		決算額(千円)	3,783	八幡中学校	2人	3人	
		(前年決算	3,675)	【弾力化制度利用対象者】令和5年度 令和4年度			
				島小学校	11人	14人	
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
遠距離通学者の通学を支援し、児童・生徒の負担の軽減を図るため、スクールバスを運行し、また運行の空き時間には校外学習等の送迎バスとして有効活用しました。							
5							
事業CD	500801	事業名	市オリジナル体操推進事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	160	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	01	教育総務費	「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動のさらなる推進や国スポ・障スポ2025に向けての機運を高めることを目的に市オリジナル体操「にこまる体操」を制作しました。				
目	02	事務局費	制作にあたっては、びわこ成蹊スポーツ大学に委託して体操の監修を依頼しました。				
		予算額(千円)	1,719	10月の定例教育委員会にて体操の内容について決定した後、曲を収録したCDと、体操を収録したDVDをそれぞれ作成し、市内保育園・幼稚園・小学校・中学校へ配布するとともに、各学区まちづくり協議会へ配布し、周知しました。体操の映像は市の公式YouTubeにもアップしました。			
		決算額(千円)	1,427	完成したことを周知するためのお披露目を、令和6年3月にイオン近江八幡ショッピングセンターにて実施しました。			
		(前年決算	—)				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
市オリジナル「にこまる体操」を制作し、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」運動のさらなる推進や国スポ・障スポ2025に向けての機運を高めることを目指しました。							
6							
<課題、今後の取り組み>							
作成した後、各施設での自主的な取組につなげていくための取組が必要です。このことから、幼稚園や小中学校の先生を対象とした講座の開催を行うとともに、各種大会等でBGMとして活用して周知・啓発を図ります。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① スクールバス運行	200	202	日
②			
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① CDの作成	—	200	枚
② DVDの作成	—	120	枚
③			

事業CD	500501	事業名	教育相談事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ①相談室では教育相談員が電話や面接による相談を受けました。相談によって、専門的な見地が必要なケースについても個別に対応を行いました。また臨床心理士が学校ケース検討会議に参加し、対象児童生徒の対応について助言するなど、学校園と連携を取ることで同じ方向性をもって支援を進めることができました。不登校や不適応に悩んでいた子どもが、相談室での面談後、「にこまる訪問」、「にこまるルーム」、あすくるへの通室等、さまざまな形で社会と繋がることができました。 ②課題をもつ児童生徒について、スクールソーシャルワーカー(SSW)による具体的な方策の提案のもと、チームとして支援を行った結果、登校できるようになったケースがありました。学校教員と共に家庭訪問等を行うことで保護者と協力的な関係を築くことができたケースもあります。また不登校傾向児童生徒について、SSWの助言のもと、福祉や医療機関とも連携を図ることができました。 ③市立小中学校のすべてに訪問教育相談員を派遣することで、各校の課題に応じた支援ができました。ケース検討会議にも参加し、訪問教育相談員の視点からアセスメントを行いました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	11,372	決算額(千円)		11,056	(前年決算 10,137)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		不登校や問題行動等で悩む市内在住の幼児や小学生、その保護者を対象に教育相談を実施しました。環境の調整を行い、問題の早期発見対応、学校復帰を目指しました。					
7		<課題、今後の取り組み> ・教育相談の内容は多岐にわたり、また複雑化していることから、様々な相談に対応できるよう、相談員の資質向上が必要であるため、研修の機会を確保します。 ・相談者は、学校や訪問教育相談員、相談室など複数で相談しているケースもあるため、学校園と連携しながら支援を進める必要があります。					
事業CD	500601	事業名	教育研究所運営事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・教職員の経験年数に応じた研修として、初任者研修(対象24名)を6回、中堅教諭等資質向上研修(対象24名)を2回、本市勤務2年次研修(対象54名)を2回、4年次・5年次教員を対象としたスキルアップ事業(対象20名)を実施しました。 ・教育研究発表大会を開催し、校園の特色ある取組と教育研究所の調査研究に関する報告を行いました。また、希望研修として、教育相談講座(参加102名)、特別支援講座(参加59名)保育・授業力アップ講座(参199名)を実施しました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	2,963	決算額(千円)		2,895	(前年決算 2,626)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		教育に関する研究および調査を行い、また新任教員や若手教員、教育関係職員の研修・講座を行うことにより教職員の資質向上を図り、教育の推進と充実に努めました。					
8		<課題、今後の取り組み> 教職員の資質向上を図るため、少しでも多くの教職員が研修に参加できるよう、研修内容や開催場所・時間を工夫する必要があります。また、本市の教育課題や受講者のニーズに応じた知識を有する講師の招聘が必要です。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 教育相談員・臨床心理士による電話・面接相談	483	503	回
② スクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣	349	433	回
③ 教育相談・見守り・観察・家庭訪問の実施	2,266	2,608	回

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 教職員の経験年数に応じた研修・講座等の開催	78	67	回
② 教育研究奨励事業の実施	12	14	回
③ 教職員対象とした教育研修発表大会の開催	1	1	回

事業CD	500701	事業名	教育支援ルーム運営事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・適応指導教室よしぶえを教育支援ルーム「にこまるルーム」に改め、14人の児童生徒を対象に198回の支援、訪問教育支援では8人の児童生徒を対象に222回の支援を行いました。 ・それぞれの子どもたちの強みや興味のあることを中心とした活動(栽培活動、工作活動等)を仕組み、指導員と一緒に活動するなかで、子どもたちの信頼関係を築くことができました。 ・学校と連携し、支援目標や支援方法を確認しながら支援を行いました。 ・本市相談室や少年センター「あずくる」とも連携し、本人と保護者の支援、卒業後の引継ぎができました。 ・令和5年度からフリースクール等の民間施設を利用する不登校児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため学期ごとに補助金を支給し、不登校児童生徒の普通教育に相当する教育の機会の確保に努めました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	10,608	決算額(千円)		9,215	(前年決算 8,328)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		不登校傾向の児童生徒を対象にした「教育支援ルーム指導員」と「訪問型教育支援員」を配置し、教育相談や学習支援、社会的自立に向けた支援を行いました。					
9		<課題、今後の取り組み> ・不登校の背景要因が複雑な場合があることから、福祉や医療等の関係機関と連携をとりながら支援を進める必要があります。 ・学校復帰や社会的自立に向けてフリースクール等に通う不登校児童生徒が近年増加しており、今後はフリースクール等民間施設の安定的かつ持続的な運営及び活動についても支援していく必要があります。					
事業CD	501101	事業名	教育指導事業(共通)	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・各校園所では、青少年美術展覧会に向けて、子どもたちの個性や想像力を生かした作品づくりに取り組み、子どもたちにとって貴重な学びの機会となりました。また、市内の子どもたちのすぐれた作品をお互いに鑑賞しあうことで、感性が刺激されさらなる作品づくりや情操教育の充実につながりました。 ・審査員である講師の先生から講評をいただき、2学期以降の作品づくりや、図工・美術教育、書写教育の推進に生かしていくことができました。 ・市内保育所、幼稚園、こども園、小・中学校より1,288点の出品があり、3日間でのべ7,251人の来場者がありました。幼児、児童、生徒、保護者、教職員をはじめ、多くの市民の方々に子どもたちの作品を鑑賞してもらうことができました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	1,575	決算額(千円)		1,430	(前年決算 1,271)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		子どもたちの豊かな心情や芸術性を育むための行事を実施し、様々な行事を通して互いに学び合いました。事務局においては、業務を円滑に進める運用を行いました。					
10		<課題、今後の取り組み> 今後も、青少年美術展覧会へ、より多くの市民に来場してもらえるようポスターや広報紙での広報を続けていきます。また、教員の来場をさらに促し、より一層の指導力向上が図れるように努める必要があります。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 教育支援ルーム「にこまるルーム」での支援	185	220	回
② 訪問教育支援「にこまる訪問」	167	231	回
③ フリースクール等利用児童生徒支援	-	15	件

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 青少年美術展覧会の開催	3	3	日
②			
③			

事業CD		501201		事業名	小学校教育指導事業		所管課		学校教育課																							
会計		一般会計			決算書頁		162	資料	無																							
款	10	教育費		<成果・実績> ①市立小学校4年生が沖島で森林環境学習を行い、森林や生き物への理解や興味を深め、森林の働きや重要性について学ぶことができました。また、沖島の歴史や文化についての学習を進めることができました。 ②子どもたちが自ら作物に触れ、「作り」「育て」「収穫し」「食べる」という一貫した農業体験学習を通じて、農業への関心を高めるとともに、生命や食べ物の大切さを学びました。 ③児童の身近な町で働かれている方や、物づくりをされている方との出会いを通して、ふるさとに誇りを持てる児童の育成を図りました。児童が人や生活、社会、自然、生命との関わり方を学び、深めるために体験活動を行ったり、講話を聞いたりすることができました。																												
項	01	教育総務費																														
目	03	教育振興費																														
予算額(千円)		5,052		<事業概要> 児童の確かな学力と豊かな心、たくましく生きる力を育てるため、体験的な学習を充実させ、地域社会と深く関わり、物事を調べ考える機会を確保しました。																												
決算額(千円)		4,924																														
(前年決算)		5,260																														
※主な特定財源				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>森林環境学習(やまのこ)事業の実施</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>たんぼのこ体験事業の実施</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>校</td> </tr> </tbody> </table>							事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位	①	森林環境学習(やまのこ)事業の実施	16	16	回	②	たんぼのこ体験事業の実施	13	12	校	③	地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	12	12	校
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位																										
①	森林環境学習(やまのこ)事業の実施	16	16	回																												
②	たんぼのこ体験事業の実施	13	12	校																												
③	地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	12	12	校																												
国庫支出金				<課題、今後の取り組み> ・令和5年度より森林環境学習事業を「やまのこサポーター」の協力を得て沖島で実施しています。本市の子どもたちが沖島を訪れ、島の人々の暮らしや自然に触れる貴重な機会となるため、整備を進め、今後も継続して実施していきます。 ・たんぼのこ体験事業は、生命や食べ物の大切さを学ぶ貴重な機会であるため、今後も継続して実施していきます。																												
県支出金																																
11																																
事業CD		501301		事業名	中学校教育指導事業		所管課		学校教育課																							
会計		一般会計			決算書頁		162	資料	無																							
款	10	教育費		<成果・実績> ①生徒の身近な町で働かれている方や、物づくりをされている方との出会いを通して、ふるさとに誇りを持てる生徒の育成を図りました。生徒が人や生活、社会、自然、生命との関わり方を学び、深めるために体験活動を行ったり、講話を聞いたりすることができました。 ②学校教育活動の一環として行われる部活動(体育活動・文化活動)の公式大会やコンクール参加への助成や全国大会出場者への激励金交付を行いました。																												
項	01	教育総務費																														
目	03	教育振興費																														
予算額(千円)		2,676		<事業概要> 各中学校で、知(確かな学力)、徳(豊かな心)、体(すこやかな体)の調和のとれた生徒を、地域と連携する中で育てるため、特色ある学校づくりを推進しました。																												
決算額(千円)		2,545																														
(前年決算)		2,464																														
※主な特定財源				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位	①	地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	4	4	校	②	各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付	5	5	校	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位																										
①	地域人材や教材を活かした特色ある学校づくりの推進	4	4	校																												
②	各種大会への選手派遣に係る補助金・激励金の交付	5	5	校																												
③																																
国庫支出金				<課題、今後の取り組み> ・教育大綱基本理念にそった「ふるさとに愛着と誇りをもつ子ども」の育成のためには、学校・地域・家庭の連携が不可欠であり、今後も地域人材や地域教材を効果的に活用し、人や文化に触れるふるさと学習や体験学習等を進めていく必要があります。 ・各種大会への補助金は予算の範囲内で配分しているため、現状では各校の活動費に対して十分な額ではありませんが、より多くの生徒が大会に参加し、日頃の成果を発揮して活躍できる機会を保障するために今後も継続していく必要があります。																												
県支出金																																
12																																

事業CD	501303	事業名	中学生チャレンジウィーク事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	01	教育総務費	職場体験学習の事前学習を通して、社会人としてのマナーや仕事の意義と生き方との関わりなどについて学び、あいさつや振る舞いなど基本的な事を身につけ、働くことの厳しさを喜び、労働に対する正しい認識を持つことができました。				
目	03	教育振興費	各事業所では単調な仕事にならないように工夫し、目的を持った指導をしていただきました。生徒は実習の中でマナーやルールの必要性を身をもって理解することができました。また、日常にはない貴重な体験を通じて仕事に対する興味や関心が広がることで、より一層、将来の自分像を描きやすくなりました。不登校の生徒でもこの実習には参加できた者もあり、有意義な3日間を送ることができました。				
		予算額(千円)	661	職場での充実した体験を通して、職業観・勤労観を育み、社会性の向上を図ることができました。また、今後の進路学習や人生設計にも生きる活動となりました。			
		決算額(千円)	627				
		(前年決算)	576				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
中学生が自らの進路を選択する力や社会人として自立する力を育むため、地域の事業所の協力のもと、職場体験や職業講話、社会人としてのマナー講座を実施しました。							
13							
事業CD	502101	事業名	外国語指導助手(ALT)配置事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	01	教育総務費	①『民間派遣委託によるALT』の7名体制で、ALTを活用した外国語教育の充実を図ることができました。				
目	03	教育振興費	②ALTを活用した外国語活動や外国語の授業を行うことで、英語を聞いたり伝えたりする必然性が生まれ、より実際の場面に近いコミュニケーション活動を豊富に行うことができました。そのことにより、子どもたちの外国語学習への意欲を高めることができました。またALTとの授業を通して、正しい発音を確認し、外国の文化や人々の暮らしについての興味関心を高めたり、多様な考え方を受け入れる姿勢を育てたりすることにつながられました。				
		予算額(千円)	35,420				
		決算額(千円)	35,420				
		(前年決算)	35,420				
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
民間派遣のALTを小中学校に配置し、コミュニケーション能力の向上と豊かな国際感覚を養いました。							
14							
			<課題、今後の取り組み>				
			小学校中学年の外国語活動の増、高学年の教科化に対応するため、よりALTを活用した授業が展開できるよう、教員の指導力・英語力の向上を図る必要があります。				

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 職場体験(中学生チャレンジウィーク)の実施	4	4	校
② 職場体験学習事前学習の実施	4	4	校
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 各小・中学校へのALTの配置	7	7	人
②			
③			

事業CD	502102	事業名	小学校外国語教育事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 日本人英語講師8名を小学校へ派遣することで、担任とのチームティーチングによる「英語を使う」授業づくりを行い、英語によるコミュニケーションの場面を大切に外国語教育を実践することができました。また日本人英語講師を講師とした研修会を小学校で行い、教員の指導力向上を図ることができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣</td> <td>120</td> <td>170</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣	120	170	回	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 日本人英語講師(8名)を各小学校へ派遣	120	170						回															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	1,259																						
決算額(千円)	1,128																						
(前年決算)	831																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
日本人英語講師を小学校に派遣し、教員とチームティーチングによる「英語を使う」授業づくりを行い、英語によるコミュニケーションを大切に外国語教育の実践に努めました。		<課題、今後の取り組み> 令和2年度全面実施となった小学校学習指導要領に対応するために、指導体制や環境の整備を引き続き行う必要があります。																					
15																							
事業CD	502201	事業名	特別支援教育推進事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 特別支援教育支援員の配置により、対象児童・生徒が落ち着いて学習に取り組めるようになり、安心した学校生活につながりました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 対象児童生徒に対する支援</td> <td>199</td> <td>200</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施</td> <td>126</td> <td>124</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 対象児童生徒に対する支援	199	200	日	② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施	126	124	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 対象児童生徒に対する支援	199	200						日															
② 就学相談対象者に対する観察訪問や就学相談会の実施	126	124						回															
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	40,115																						
決算額(千円)	37,433																						
(前年決算)	28,629																						
※主な特定財源		・特別支援教育支援員の配置状況 (小学校) 八幡小学校 4名 島小学校 1名 岡山小学校 4名 金田小学校 4名 桐原小学校 2名 桐原東小学校3名 馬淵小学校1名 北里小学校 3名 武佐小学校 1名 安土小学校 3名 老蘇小学校 1名 (中学校) 八幡中学校 2名 八幡東中学校 2名 八幡西中学校 2名 安土中学校 2名 ・看護師の配置状況 (小学校) 岡山小学校 1名 金田小学校 1名 武佐小学校 1名																					
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
特別支援教育支援員や看護師を配置し支援体制を整えました。また、教育支援委員会を設置し、障がいのある子どもの就学に関して助言を行いました。		<課題、今後の取り組み> 特別支援教育支援員の配置は、子どもたちが安心し、落ち着いて学べる環境づくりには不可欠であり、支援を必要とする児童・生徒が増加傾向にある中、適切な支援を行うため、支援員のさらなる増員が望まれます。また、医療的ケアが必要な子どもが地域の学校で学んでいけるよう、看護師の安定的な配置が求められます。 就学相談対象者について、教育的ニーズの多様化に伴い、総合的な判断のもと、子ども・保護者の思いをできる限り尊重した形で就学先を決定することができるよう今後も取り組んでいきます。																					
16																							

事業CD	502203	事業名	発達支援巡回相談事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 市立小・中学校からの申し出に応じて巡回相談員が学校を訪問し、対象児童生徒の特性や支援の見立てを行いました。対象児童生徒がよりよい学校生活を送るために必要な教育的支援について、担任や特別支援教育コーディネーター等の支援者に指導助言を行いました。通常学級在籍児童生徒の巡回相談では、授業づくりや学級づくりについての助言により指導の改善が図れました。また、対象児童生徒の個別支援の方向性を考える機会となり、その後保護者と話す中で、発達検査や就学相談の実施につなげることができたケースもありました。 特別支援学級への巡回相談には、県立特別支援学校の教員に相談員を依頼することで、より専門性の高い助言が可能となり、学習指導や生活指導の場で担任がそのスキルを活かすことにつながりました。 訪問回数 ・市立16小・中学校に65回 ・通常学級37回(小29回:142人、中8回:16人) ・特別支援学級28回(小22回:30人、中6回:7人)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 対象児童生徒への支援や環境調整に関する指導助言</td> <td>64</td> <td>65</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 対象児童生徒への支援や環境調整に関する指導助言	64	65	回	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 対象児童生徒への支援や環境調整に関する指導助言	64	65						回															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	451																						
決算額(千円)	448																						
(前年決算)	433																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
特別な支援を要する子どもに関して、担任等により効果的な支援の方法を助言し、継続支援が行われるよう校内支援体制の充実に努めました。																							
17		<課題、今後の取り組み> インクルーシブ教育の推進により、地域の小・中学校に就学する特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあります。また通常の学級にも支援を必要とする児童生徒の割合が高くなっています。巡回相談での指導助言を個別の指導計画や教育支援計画に反映させ、児童生徒への指導にあたることのできるよう教職員の力量アップを図る必要があります。また、経験年数の浅い教員が特別支援学級の担任をすることも増えてきており、日常的なサポートの必要性も高まっています。																					
事業CD	502301	事業名	小1すこやかサポーター配置事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> ・小学校1年生にとって、学校という大きな生活環境の中で担任の指示だけで行動することは難しく、小1すこやかサポーターが個々の子どもにきめ細かくに対応することで、子どもたちが安心して学校生活を送ることができ、日々の生活に大きく寄り添いました。 ・教室移動や学習支援、給食支援等、小1すこやかサポーターの支援で、教職員の時間的、物理的な負担をおおいに軽減することができました。 配置校 金田小学校(4学級)・桐原小学校(3学級)・桐原東小学校(2学級) 武佐小学校(1学級)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 当該学級における学習面・生活面の各種支援</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 当該学級における学習面・生活面の各種支援	90	90	日	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 当該学級における学習面・生活面の各種支援	90	90						日															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	3,475																						
決算額(千円)	3,386																						
(前年決算)	4,664																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
新小1の児童が学校教育にスムーズになじめるよう、1学級31人以上の子どもが学ぶ学級に小1すこやかサポーターを配置し、学習面や生活面でのきめ細やかな支援を行いました。		<課題、今後の取り組み> 学校生活への順応を促すため、小1すこやかサポーターの配置の意義は大きいと考えます。学級担任の指導力の向上も図りつつ、学校組織として児童の自立の成長を目指すことも大切であることから、配置の期間や見直しなど適宜検討していく必要があります。																					
18																							

事業CD	502501	事業名	スクーリング・ケアサポーター派遣事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> ・配慮が必要な児童に対して学習支援などの関わりを持つことで、安心して学習できるようになるケースが多く見られました。 ・教室に行きにくい児童に寄り添い気持ちを受け止めることで、友だちと楽しく遊ぶ等安定した学校生活を送ることができるようになるなど、スクーリング・ケアサポーター（SCS）の関わりにより、自分に自信をもち、苦手なことやできなかったことに挑戦しようとする児童が増えました。 ・不登校の要因は、人間関係や学業不振、家庭環境等が複雑に絡み合っており、高学年になるにつれて教室へ行きにくさを感じる児童が増加する傾向にあるため、各校の状況に応じてスクーリング・ケアサポーターを重点的に派遣しました。 <派遣小学校> 八幡小、島小、岡山小、金田小、桐原小、桐原東小、馬淵小、北里小、武佐小、安土小、老蘇小	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① スクーリング・ケアサポーターによる児童への支援</td> <td>1,408</td> <td>1,198</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>② スクーリング・ケアサポーターへの研修</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① スクーリング・ケアサポーターによる児童への支援	1,408	1,198	時間	② スクーリング・ケアサポーターへの研修	3	3	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① スクーリング・ケアサポーターによる児童への支援	1,408	1,198						時間															
② スクーリング・ケアサポーターへの研修	3	3						回															
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	1,600																						
決算額(千円)	1,476																						
(前年決算)	1,442																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
小学校にスクーリング・ケアサポーターを派遣し、不登校をはじめとする学校不適応の状態にある児童に対して、生活面・学習面の支援を行いました。		<課題、今後の取り組み> 児童が抱えている課題や不安は多種多様になっており、スクーリング・ケアサポーターと担任などとの連携を強化していく必要があります。教職員との連携についての研修を実施する必要があります。																					
19																							
事業CD	502601	事業名	臨時講師配置事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> ・市費臨時講師が授業を担当することで、生徒指導主任や学級担任の授業時間軽減が図れ、教材研究を深めたり、子どもと向き合う時間を確保しやすくなり、児童生徒理解と学力向上の取組が深まりました。 ・市費臨時講師が算数の少人数指導や複数指導にあたることにより、生徒指導や教務主任の授業時間を軽減することができました。これにより、生徒指導上の事案に対して迅速に対応することができました。 ・市費臨時講師自身が日々の児童生徒との関わりの中で、良好な人間関係を構築し、課題を抱える児童生徒の対応や学習指導、各学級への給食指導、登下校の安全指導等を行うことで、児童生徒の安定した学校生活につながりました。 【令和5年度配置校】 金田小学校・桐原東小学校・北里小学校・安土小学校・八幡東中学校・八幡西中学校・安土中学校	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 生徒指導上の課題を抱える児童生徒への相談・支援</td> <td>215</td> <td>215</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 生徒指導上の課題を抱える児童生徒への相談・支援	215	215	日	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 生徒指導上の課題を抱える児童生徒への相談・支援	215	215						日															
②																							
③																							
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	19,841																						
決算額(千円)	19,727																						
(前年決算)	20,016																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
不登校や問題行動等課題の多い中学校や加配教員等の少ない小中学校の生徒指導等に対応するため、臨時講師を配置し学校の組織体制の充実を図りました。		<課題、今後の取り組み> 市費臨時講師は県費教職員加配措置の状況や各種支援員の配置などを考慮して決定する必要があります。個別の支援が必要な児童生徒が増加し、生徒指導上の諸課題や保護者対応に時間を要する学校が増えていることから、配置校を増やすことについても検討の必要があります。																					
20																							

事業CD	502701	事業名	学校運営支援事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> ・教職員の働き方改革の観点から、全ての学校にスクールサポートスタッフ(教員業務支援員)の配置を目指す国の方針にしたがって、市内すべての小中学校に配置しました。従来から教職員が担ってきた掲示物の掲示やワークシートや通信の印刷などをスクールサポートスタッフに依頼することで、教職員と児童生徒とが向き合う時間の確保に効果が見られました。 ・部活動指導員配置事業として4中学校に指導員を8名配置しました。教職員の時間外労働が軽減され、生徒への支援・指導に対応できる時間を確保することができました。また指導員を配置したことにより、専門的な技術指導やチーム作りの指導を受けることができ、専門技能の習得とスポーツから得られる忍耐や協調性などの社会性の成就に大いに効果が見られました。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	13,789	決算額(千円)		13,789	(前年決算 14,437)																		
※主な特定財源		国庫支出金																					
		県支出金																					
<事業概要>		教員業務を支援する支援員を配置し、学校現場で教員が教材研究等本来担うべき業務に注力できる体制を整備しました。また、学校の働き方改革を推進する方策について協議しました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 部活動指導員の配置</td> <td>738</td> <td>1,575</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>② スクールサポートスタッフの配置</td> <td>12,360</td> <td>12,608</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 部活動指導員の配置	738	1,575	時間	② スクールサポートスタッフの配置	12,360	12,608	時間	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 部活動指導員の配置	738	1,575	時間																				
② スクールサポートスタッフの配置	12,360	12,608	時間																				
③																							
21		<課題、今後の取り組み>		学校は個人情報保護や児童生徒および保護者との対応など、教員経験や学校現場での就労経験がある者が望ましいものの、人材確保が難しい状況にあります。事業を拡大するには学校運営支援事業の就労条件を整えるなどの整備や、人材ネットワークのようなシステムを整える必要があります。																			
事業CD	502801	事業名	いじめ対策推進事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> ・いじめ問題対策連絡協議会において、各校のいじめ問題に係る取組報告や、各機関・団体のいじめ防止に係る連携および推進に関する取組について情報共有を行い、連携体制を改めて確認し、各校の取組をさらに充実したものとするために協議を行いました。 ・いじめ問題専門委員会において、各委員から専門的な見地をもとに、本市のいじめ防止の取組について助言を受け、いじめ防止アンケートの内容を見直すことができました。 ・各校においては、児童生徒主体の取組を進め、いじめを許さない雰囲気を醸成することができました。 ・いじめを解消とするためには、いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続している必要があるため、過去に認知したいじめについて今後も継続して見守りと指導を行います。																				
項	01	教育総務費																					
目	03	教育振興費																					
予算額(千円)	174	決算額(千円)		172	(前年決算 59)																		
※主な特定財源		国庫支出金																					
		県支出金																					
<事業概要>		いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題専門委員会を開催し、学校、家庭、地域、関係機関が一体となっていじめ問題を克服するための取組の充実を図りました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① いじめ問題対策連絡協議会の開催</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② いじめ問題専門委員会の開催</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① いじめ問題対策連絡協議会の開催	3	3	回	② いじめ問題専門委員会の開催	2	2	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① いじめ問題対策連絡協議会の開催	3	3	回																				
② いじめ問題専門委員会の開催	2	2	回																				
③																							
22		<課題、今後の取り組み>		いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題専門委員会で共有したり協議したりした内容について、各校に伝達・周知することを通して、各校のいじめ対応能力のさらなる向上を目指すことが必要です。																			

事業CD	503101	事業名	外国人児童生徒教育支援事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 日本語学習指導員兼コーディネーターを配置することで、市内に在籍する外国人児童生徒の状況を把握することができ、一人ひとりの状況にあった日本語指導や母語支援を行うことができました。母語支援員として、ポルトガル語対応支援員2名、中国語対応支援員1名、ベトナム語対応支援員2名、英語対応支援員1名、令和5年度からは新たにタガログ語対応支援員1名を配置しました。年間を通じて支援員を市立小中学校に派遣し、64名の外国語児童生徒に適応支援や学習支援を行いました。言葉や文化の違いから学校生活に適応できず、不登校になった外国人児童生徒はありません。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	5,427	決算額(千円)		5,317	(前年決算 4,581)		
※主な特定財源		国庫支出金					
		県支出金					
<事業概要>		小中学校に在籍する外国人児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応支援や日本語指導、学習支援等を行いました。					
25		<課題、今後の取り組み> 母語支援を必要とする外国人児童生徒の母語が多言語化しており、ポルトガル語、中国語、ベトナム語、英語、タガログ語だけでは十分な支援が行えない現状にあります。外国人児童生徒の中には言葉以外の課題を抱える児童生徒もいることから、関係機関と連携した支援が必要となります。					
事業CD	503201	事業名	学校安全総合支援事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・武佐小学校と安土小学校をモデル校として本事業を実施しました。 ・緊急地震速報システムを活用した避難訓練を実施し、緊急時において適切な行動をとることができるよう確認しました。 ・学校防災アドバイザーの活用や防災学習の実施により、児童と教職員の防災に関する知識や意識に向上が見られました。 ・本事業を受けて導入した緊急地震速報受信システムは、年始に発生した能登半島地震も感知、発報しており、その後を実施した地震を想定した避難訓練では、従来の避難訓練と比べてより一層緊迫感のある訓練となりました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	624	決算額(千円)		601	(前年決算 524)		
※主な特定財源		国庫支出金					
		県支出金					
<事業概要>		学校安全の組織的取組、外部専門家の活用を促進し、地域全体での学校安全推進体制を構築し、学校安全の取組を推進しました。実施校：武佐小、安土小					
26		<課題、今後の取り組み> 防災学習における体験学習や講話では、地震を取り扱うことが多くなっていますが、近年は台風や豪雨、豪雪などによって市内一斉に休校等の措置をとることもあるため、地震以外の災害についても実践的な態度を育成する必要があります。 令和5年度で沖島小を除く11小学校に緊急地震速報システムを設置しましたが、受信期限が5年間のため、期間が経過して受信期限が切れたシステムについては避難訓練でのみ活用していきます。					

事業CD	503302	事業名	学校司書配置事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ①学校図書館や図書を活用した授業を、モデル校の教諭と学校司書が連携して積極的に進め、市内の教員に授業を公開していくことで、授業で図書や学校司書を活用する機会が増えました。 ②ブックトークや学校図書館のオリエンテーションを行い、児童生徒に図書室の使い方やおすすめの本を紹介することで、児童生徒の図書への興味関心を高めることができました。 ③学校司書が季節の本や新刊図書の紹介等、テーマを決めて本を紹介するコーナーを作ったり、児童生徒のニーズに合わせて配架を工夫したりすることで、子どもたちが行ってみたいくなる学校図書館になり、徐々に貸出冊数も増えています。 ④内容が古い本等は廃棄して子どもたちの読書活動がより活発になるように本を選書し、学校図書館の本を入れ替えています。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	11,001	決算額(千円)		10,264	(前年決算 8,518)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		学校司書を配置し、読書活動と学校図書館の利活用の推進、学校司書との協働授業の実践、心豊かな子どもの育成、将来にわたって学ぶ力の育成の取組を強化しました。					
27		<課題、今後の取り組み> 現在は学校司書一人が3～4校を掛け持ちするため、担当校での勤務が週1～2日です。そのため学校司書が教職員と学校図書館の運営や授業についての打合わせ時間を確保することが難しくなっています。市学校図書館教育方針にある「読書センター」「学習・情報センター」「心の居場所」としての機能を果たす学校図書館には学校司書が欠かせません。今後は司書を3名増員し、一人あたりの担当校を2校にして充実した取組を進めたいと考えます。					
事業CD	503401	事業名	地域部活動推進事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・市内1校にのみ設置されているラグビー部を拠点とし、休日のみ「八幡西中ラグビークラブ」として地域の指導者、兼職兼業教員で指導する地域クラブを設置しました。 ・市内4中学校の生徒であれば誰でも「八幡西中ラグビークラブ」に参加できるようになりました。 ・地域の指導者から専門的な技能を教えてもらうことができ、生徒の活動意欲が高まりました。				
項	01	教育総務費					
目	03	教育振興費					
予算額(千円)	3,954	決算額(千円)		3,097	(前年決算 -)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		少子化の中でも子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校の部活動における地域移行を進めていきました。					
28		<課題、今後の取り組み> 他の学校からも参加できる体制を作りましたが、今年度は他校からの参加者はありませんでした。今後は、周知時期や周知方法を工夫するとともに、生徒のニーズを把握し、他競技における地域クラブの体制整備についても検討していく必要があります。					

事業CD	080101	事業名	小学校施設維持管理事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行い、また法定点検や検査、保守を適正に行うことで、安全・安心な教育環境を提供を行いました。また、地域と協力し、校庭の芝生の管理を行うことで、より充実した教育環境の提供と児童の体力向上に努めました。																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		189,921																					
決算額(千円)		183,021																					
(前年決算		188,987																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
安全・安心な教育環境を提供するため、教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行いました。																							
29																							
事業CD	540101	事業名	小学校運営事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育委員会と学校が連携を取りながら、学校環境整備等に取り組むことができました。用務員業務の民間委託については、令和5年度より業者変更を行いました。大きなトラブル等も無く円滑に業務を行うことができました。また、授業目的公衆送信補償金制度を利用し、教育のICT化が進む中、インターネットを經由した教材の円滑な活用を図りました。																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		55,291																					
決算額(千円)		54,388																					
(前年決算		51,694																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
児童の教育環境の向上、円滑な学校運営の推進及び学校事務の効率化のため、学校と連携し、教育を行うための諸条件を整備しました。																							
30																							
		<課題、今後の取り組み> 限りある資源の有効活用を図るとともに、経年劣化が著しい大型備品の計画的な整備を検討し、引き続き児童の学びを支える教育環境の充実に取り組んでいきます。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 小学校環境整備に伴う用務員委託</td> <td>26,684</td> <td>30,480</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 学校運営に伴う備品購入</td> <td>3,767</td> <td>4,287</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入</td> <td>14,970</td> <td>15,204</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 小学校環境整備に伴う用務員委託	26,684	30,480	千円	② 学校運営に伴う備品購入	3,767	4,287	千円	③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入	14,970	15,204	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 小学校環境整備に伴う用務員委託	26,684	30,480	千円																				
② 学校運営に伴う備品購入	3,767	4,287	千円																				
③ 小学校環境整備に伴う消耗品購入	14,970	15,204	千円																				

事業CD	540102	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	<成果・実績>					
項	02	昨年度に引き続き、国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策として必要な物品等(HEPAフィルター付き空気清浄機及びサーキュレーター並びに換気に伴い必要な網戸、ファンヒーター等)を整備し、児童の感染症対策を実施することにより、安心・安全な学校活動の維持を図りました。					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		14,745					
決算額(千円)		3,923					
(前年決算		15,298)	
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金							
<事業概要>							
感染症対応が長期化する中、新型コロナウイルス感染症に負けない学校づくりに向けて感染症対策のための衛生環境設備を支援しました。							
31							
事業CD	780103	事業名	島小学校施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	<成果・実績>					
項	02	屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう落下対策工事を行いました。屋内運動場の非構造部材の耐震化を行い、子どもたちや地域開放の利用者に安全・安心な施設を提供するとともに、避難施設として機能を確保することができました。					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		14,889					
決算額(千円)		9,780					
(前年決算		508)	
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金							
<事業概要>							
安全・安心な教育環境を提供するため、屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう対策を行いました。							
32							
<課題、今後の取り組み>							
非構造部材落下対策工事に合わせて屋内運動場照明のLED化を進めていますが、校舎内や屋外照明についてもLED化を計画的に進める必要があります。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	感染症対策のための物品等整備	15,298	3,923	千円
②				
③				

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位
①	設計業務委託	508		千円
②	工事請負費		9,207	千円
③	監理業務委託		550	千円

事業CD	780107	事業名	北里小学校施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	<成果・実績>					
項	02	年齢や障がい等に関係なく、だれもが校舎各階への移動が容易にできるようにするため、エレベーターを設置し、より充実した教育環境を提供することができました。					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		106,467					
決算額(千円)		84,492					
(前年決算		2,868)	
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
年齢や障がい等に関係なく、だれもが校舎各階への移動が容易にできるようにするため、エレベーターを設置し、より充実した教育環境を提供しました。							
33							
事業CD	780109	事業名	八幡小学校施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無
款	10	<成果・実績>					
項	02	タイトルの剥がれやアスファルトの隆起などが発生しており、滑りやすかつまづきやすい環境でしたが、中庭の改修を行うことで、児童が集える場所として活用を図ることができました。					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)		7,810					
決算額(千円)		7,810					
(前年決算		-)	
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
八幡小学校の教育環境の向上を目的として、中庭の改修工事を行いました。							
34							
<課題、今後の取り組み>							
市内の小中学校16校のうち6校がエレベーターが未整備であり、「近江八幡市学校施設の長寿命化計画」に基づく長寿命化改修工事に合わせて整備を行うなど、施設コストの縮減および予算の平準化を図りつつ、計画的に進めていきます。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 設計業務委託	2,751		千円
② 工事請負費		82,402	千円
③ 監理業務委託		2,090	千円

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 工事請負費		7,810	千円
②			
③			

事業CD	780113	事業名	沖島小学校施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう落下対策工事を行いました。屋内運動場の非構造部材の耐震化を行い、子どもたちや地域開放の利用者に安全・安心な施設を提供するとともに、避難施設として機能を確保することができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計業務委託</td> <td>508</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 工事請負費</td> <td></td> <td>9,724</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 監理業務委託</td> <td></td> <td>550</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 設計業務委託	508		千円	② 工事請負費		9,724	千円	③ 監理業務委託		550	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 設計業務委託	508							千円															
② 工事請負費		9,724						千円															
③ 監理業務委託		550	千円																				
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	14,597																						
決算額(千円)	10,274																						
(前年決算	508)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金	1/2																						
県支出金																							
<事業概要>																							
安全・安心な教育環境を提供するため、屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう対策を行いました。																							
35																							
事業CD	780114	事業名	老蘇小学校施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 令和6年度中の工事着手・完成を目指し、工事に係る設計を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計業務委託</td> <td></td> <td>3,630</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 設計業務委託		3,630	千円	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 設計業務委託		3,630						千円															
②																							
③																							
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	164,971																						
決算額(千円)	3,630																						
(前年決算	7,533)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金	1/3																						
県支出金																							
<事業概要>																							
老蘇小学校の教育環境の向上を目的として、トイレ改修等の設計を行いました。																							
36																							
<課題、今後の取り組み>																							
市内の学校施設の多くは、昭和40年代後半から60年代に整備され老朽化が進むこれらの施設の計画的な更新や維持を行うことが求められています。「近江八幡市学校施設の長寿命化計画」に基づき、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境を確保するとともに、施設の老朽化対策と質的改善を、コストの縮減および予算の平準化を図りつつ、計画的に進めていきます。																							

事業CD	780120	事業名	小学校空調設備整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 設置から20年以上経過した空調設備を対象に一斉更新を行うことで、故障のリスクが大幅に低減し、仮に故障した際も修理部品が手配できることから早期の修繕対応が可能となり、教育環境の向上を図ることができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計施工一括発注整備工事</td> <td></td> <td>97,427</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 空調更新室数</td> <td></td> <td>36</td> <td>室</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 設計施工一括発注整備工事		97,427	千円	② 空調更新室数		36	室	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 設計施工一括発注整備工事		97,427						千円															
② 空調更新室数		36						室															
③																							
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	111,668																						
決算額(千円)	97,427																						
(前年決算	0)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金	1/3																						
県支出金																							
<事業概要>																							
小学校の教育環境の向上を目的として、老朽化した小学校の空調設備の一斉更新を行いました。																							
37																							
事業CD	780123	事業名	小学校防犯対策施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	162	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 令和6年度中の工事着手・完成を目指し、工事に係る設計を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計業務委託</td> <td></td> <td>3,105</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 設計業務委託		3,105	千円	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 設計業務委託		3,105						千円															
②																							
③																							
項	02	小学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	68,699																						
決算額(千円)	3,105																						
(前年決算	-)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金	1/2																						
県支出金																							
<事業概要>																							
児童等の安全を確保することを目的として、防犯対策施設整備の設計を行いました。																							
38																							
<課題、今後の取り組み>																							
令和6年度中の完成を目指し、工事発注と監理を行います。																							

事業CD	055101	事業名	小学校要保護児童援助事業	所管課	学校教育課																	
会計	一般会計			決算書頁	164	資料	無															
款	10	教育費	<成果・実績> 申請者に対して正確な要否判定を行い、該当する対象者に修学旅行費の一部を期日までに給付して、経済的な理由で就学が困難な児童の保護者の経済的負担を軽減しました。(1件当たり上限22,690円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 援助が必要な保護者に修学旅行費の一部を給付</td><td>6</td><td>2</td><td>件</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 援助が必要な保護者に修学旅行費の一部を給付	6	2	件	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度					単位															
① 援助が必要な保護者に修学旅行費の一部を給付	6	2					件															
②																						
③																						
項	02	小学校費																				
目	02	教育振興費																				
予算額(千円)	53																					
決算額(千円)	45																					
(前年決算	57)																				
※主な特定財源																						
国庫支出金																						
県支出金																						
<事業概要> 義務教育の円滑な実施のため、要保護児童の保護者に対し、生活保護で給付対象外である修学旅行費についてその一部を給付しました。																						
39			<課題、今後の取り組み> 計画的に事務を遂行し、適正に給付します。																			
事業CD	055102	事業名	小学校準要保護児童援助事業	所管課	学校教育課																	
会計	一般会計			決算書頁	164	資料	無															
款	10	教育費	<成果・実績> 市要綱に基づき給付審査を行い、計327件が給付対象となり、経済的な理由で就学困難な児童の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を期日までに給付し、児童が安心して就学できるよう図りました。 また、令和6年度新小学校1年生の保護者のうち、入学前給付審査で認定の判定を行った26件に新入学児童生徒学用品費を給付しました。(単価57,060円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 学校生活に必要な経費を一部給付する</td><td>366</td><td>327</td><td>件</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 学校生活に必要な経費を一部給付する	366	327	件	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度					単位															
① 学校生活に必要な経費を一部給付する	366	327					件															
②																						
③																						
項	02	小学校費																				
目	02	教育振興費																				
予算額(千円)	23,971																					
決算額(千円)	20,275																					
(前年決算	24,101)																				
※主な特定財源																						
国庫支出金																						
県支出金																						
<事業概要> 義務教育の円滑な実施のため、経済的な理由で就学困難な児童の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。																						
40			<課題、今後の取り組み> 児童が安心して学校生活を送れるように、この事業を継続していくことが大切であると考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																			

事業CD	05201	事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	164	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 申請に対して、家庭の経済状況等に応じた補助対象経費を決める支弁区分を判定し、国庫補助の要綱に従って給付事務を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付</td> <td>189</td> <td>251</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	189	251	件	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	189	251						件															
②																							
③																							
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	7,710																						
決算額(千円)	5,556																						
(前年決算	5,748)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 特別支援学級等に在籍する児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。				<課題、今後の取り組み> 特別支援学級の在籍者は年々増加傾向にあるため、事業を継続することが必要と考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																			
41																							
事業CD	542101	事業名	小学校教育教材事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	164	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 各学校が希望する教材備品については学校と連携しながら購入することができ、学校図書館の図書についても学校教諭や学校司書が児童にとって必要な図書は何か考えながら選書し、小学校における教育環境及び読書環境の整備を実施することができました。 小学校図書については一般財団法人村松報恩会及び株式会社尾賀亀からの寄附金も活用し、各校の図書の充実を図りました。 また、岡山小学校への寄附金を活用し、当該校と協議の上、楽器等のほか高鉄棒を設置しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 教材備品(図書費含む。)</td> <td>9,053</td> <td>12,142</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 教材消耗品</td> <td>6,005</td> <td>5,726</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 岡山小学校高鉄棒設置工事</td> <td>0</td> <td>764</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 教材備品(図書費含む。)	9,053	12,142	千円	② 教材消耗品	6,005	5,726	千円	③ 岡山小学校高鉄棒設置工事	0	764	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 教材備品(図書費含む。)	9,053	12,142						千円															
② 教材消耗品	6,005	5,726						千円															
③ 岡山小学校高鉄棒設置工事	0	764	千円																				
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	18,854																						
決算額(千円)	18,632																						
(前年決算	15,058)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 確かな学力を育む「子どもの学ぶ力」の向上を目指す学習活動につなげるため、小学校における教育環境及び読書環境の充実・整備に努めました。				<課題、今後の取り組み> 学校と教育委員会とで連携し、限りある資源を効率的に運用できるよう整備を進めつつ、児童にとって魅力のある学びやすい教育環境を整えていきます。																			
42																							

事業CD	542501	事業名	小学校GIGAスクール構想推進事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	164	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 学校と教育委員会で連携し、大きなトラブル等なくネットワーク環境等を運営できました。昨年度に引き続き、整備後約10年が経過した大型提示装置の更新整備を実施・完了し、校内のICT教育推進のための環境整備及び改善を行うことができました。 また、学習系ネットワークについては保守委託によりサポートセンターを設置し、学校からの相談やタブレット端末の故障対応を実施することにより、学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えることができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 大型提示装置の更新</td> <td>73</td> <td>49</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供</td> <td>69,814</td> <td>68,607</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 学習系ネットワーク保守</td> <td>851</td> <td>851</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 大型提示装置の更新	73	49	台	② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	69,814	68,607	千円	③ 学習系ネットワーク保守	851	851	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 大型提示装置の更新	73	49						台															
② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	69,814	68,607						千円															
③ 学習系ネットワーク保守	851	851	千円																				
項	02	小学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	79,786																						
決算額(千円)	79,569																						
(前年決算	88,282)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 児童の創造性や情報活用能力の育成のため、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境整備を行い、ICT機器を活用した学習活動を充実させました。																							
43																							
事業CD	080201	事業名	中学校施設維持管理事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行い、また法定点検や検査、保守を適正に行うことで、安全・安心な教育環境を提供を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 各種修繕</td> <td>5,889</td> <td>7,800</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 各種保守管理業務委託</td> <td>9,030</td> <td>9,842</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 各種修繕	5,889	7,800	千円	② 各種保守管理業務委託	9,030	9,842	千円	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 各種修繕	5,889	7,800						千円															
② 各種保守管理業務委託	9,030	9,842						千円															
③																							
項	03	中学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	71,052																						
決算額(千円)	67,143																						
(前年決算	73,008)																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 安全・安心な教育環境を提供するため、教育委員会と学校が連携し、修繕等学校施設の管理を行いました。																							
44																							
<課題、今後の取り組み> 建築後30年近く経過した建物が増えてきており、近年、給水管の漏水が相次いで起こるなど対応に追われています。今後、給排水設備や電気設備、建具などの施設の老朽化に伴う計画的な修繕が課題となっています。																							

事業CD	560101	事業名	中学校運営事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 教育委員会と学校が連携を取りながら、学校環境整備等に取り組むことができました。用務員業務の民間委託については、令和5年度より業者変更を行いました、大きなトラブル等も無く円滑に業務を行うことができました。 また、授業目的公衆送信補償金制度を利用し、教育のICT化が進む中、インターネットを經由した教材の円滑な活用を図りました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 中学校環境整備に伴う用務員委託</td> <td>14,785</td> <td>15,240</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 学校運営に伴う備品購入</td> <td>2,261</td> <td>2,340</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 中学校環境整備に伴う消耗品購入</td> <td>7,852</td> <td>8,441</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 中学校環境整備に伴う用務員委託	14,785	15,240	千円	② 学校運営に伴う備品購入	2,261	2,340	千円	③ 中学校環境整備に伴う消耗品購入	7,852	8,441	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 中学校環境整備に伴う用務員委託	14,785	15,240						千円															
② 学校運営に伴う備品購入	2,261	2,340						千円															
③ 中学校環境整備に伴う消耗品購入	7,852	8,441	千円																				
項	03	中学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	31,595																						
決算額(千円)	30,552																						
(前年決算	31,385)																						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 生徒の教育環境の向上、円滑な学校運営の推進及び学校事務の効率化のため、学校と連携し、教育を行うための諸条件を整備しました。																							
45																							
事業CD	560102	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 昨年度に引き続き、国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策として必要な物品等(HEPAフィルター付き空気清浄機及びサーキュレーター並びに換気に伴い必要な網戸、ファンヒーター等)を整備し、生徒の感染症対策を実施することにより、安心・安全な学校活動の維持を図りました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 感染症対策のための物品等整備</td> <td>6,296</td> <td>2,039</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 感染症対策のための物品等整備	6,296	2,039	千円	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 感染症対策のための物品等整備	6,296	2,039						千円															
②																							
③																							
項	03	中学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)	5,650																						
決算額(千円)	2,039																						
(前年決算	6,296)																						
※主な特定財源 国庫支出金 1/2 県支出金																							
<事業概要> 感染症対応が長期化する中、新型コロナウイルス感染症に負けない学校づくりに向けて感染症対策のための衛生環境設備を支援しました。																							
46																							
<課題、今後の取り組み> コロナ禍が収束したため、事業完了とします。																							

事業CD	780202	事業名	八幡中学校施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう落下対策工事を行いました。屋内運動場の非構造部材の耐震化を行い、子どもたちや地域開放の利用者に安全・安心な施設を提供するとともに、避難施設として機能を確保することができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設計業務委託</td> <td>508</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 工事請負費</td> <td></td> <td>18,700</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 監理業務委託</td> <td></td> <td>550</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 設計業務委託	508		千円	② 工事請負費		18,700	千円	③ 監理業務委託		550	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 設計業務委託	508							千円															
② 工事請負費		18,700	千円																				
③ 監理業務委託		550	千円																				
項	03	中学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		25,421																					
決算額(千円)		19,250																					
(前年決算		508																					
※主な特定財源																							
国庫支出金		1/2																					
県支出金																							
<事業概要>																							
安全・安心な教育環境を提供するため、屋内運動場に設置されている照明器具やバスケットゴール等の非構造部材が地震等で落下しないよう対策を行いました。																							
47			<課題、今後の取り組み> 非構造部材落下対策工事に合わせて屋内運動場照明のLED化を進めていますが、校舎内や屋外照明についてもLED化を計画的に進める必要があります。																				
事業CD	780205	事業名	八幡西中学校施設整備事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 長寿命化改修の事業着手に先立ち、建物の老朽化度合いを総合的かつ客観的に評価する「耐力度調査」と、石綿が見つかった場合、適切に処理するためのばく露防止対策や工事計画を検討するため「石綿含有調査」を実施しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 耐力度調査および石綿含有調査委託</td> <td></td> <td>12,012</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 耐力度調査および石綿含有調査委託		12,012	千円	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 耐力度調査および石綿含有調査委託		12,012						千円															
②																							
③																							
項	03	中学校費																					
目	01	学校管理費																					
予算額(千円)		17,477																					
決算額(千円)		12,012																					
(前年決算		-																					
※主な特定財源																							
国庫支出金		1/3																					
県支出金																							
<事業概要>																							
八幡西中学校の教育環境の向上を目的として、老朽化している学校施設の長寿命化改良工事に向けた調査を行いました。																							
48			<課題、今後の取り組み> 調査結果を踏まえ、次年度に長寿命化改修工事を実施するための設計に着手します。																				

事業CD	780220	事業名	中学校空調設備整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 設置から20年以上経過した空調設備を対象に一斉更新を行うことで、故障のリスクが大幅に低減し、仮に故障した際も修理部品が手配できることから早期の修繕対応が可能となり、教育環境の向上を図ることができました。				
項	03	中学校費					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)	45,720	決算額(千円)		39,138	(前年決算 0)		
※主な特定財源							
国庫支出金		1/3					
県支出金							
<事業概要>							
中学校の教育環境の向上を目的として、老朽化した中学校の空調設備の一斉更新を行いました。							
49							
事業CD	780223	事業名	中学校防犯対策施設整備事業	所管課	教育総務課		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 令和6年度中の工事着手・完成を目指し、工事に係る設計を行いました。				
項	03	中学校費					
目	01	学校管理費					
予算額(千円)	17,672	決算額(千円)		677	(前年決算 -)		
※主な特定財源							
国庫支出金		1/2					
県支出金							
<事業概要>							
生徒等の安全を確保することを目的として、防犯対策施設整備の設計を行いました。							
50							
		<課題、今後の取り組み> 令和6年度中の完成を目指し、工事発注と監理を行います。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 設計施工一括発注整備工事		39,138	千円
② 空調更新室数		14	室
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 設計業務委託		677	千円
②			
③			

事業CD	055301	事業名	中学校要保護生徒援助事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 申請者に対し正確な要否判定を行い、該当する対象者に修学旅行費の一部を期日までに給付し、経済的な理由で就学が困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減しました。(1件当たり上限60,910円)				
項	03	中学校費					
目	02	教育振興費					
予算額(千円)	671						
決算額(千円)	414						
(前年決算	171)					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<事業概要> 義務教育の円滑な実施のため、要保護生徒の保護者に対し、生活保護で給付対象外である修学旅行費についてその一部を給付しました。							
51							
事業CD	055302	事業名	中学校準要保護生徒援助事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 市要綱に基づき給付審査を行い、計234件が給付対象となり、経済的な理由で就学困難な生徒の保護者に対し、学校生活に必要な経費の一部を期日までに給付し、生徒が安心して就学できるよう図りました。 また、令和6年度新中学校1年生の保護者のうち、入学前給付審査で認定の判定を行った43件に新入学児童生徒学用品費を給付しました。(単価63,000円)				
項	03	中学校費					
目	02	教育振興費					
予算額(千円)	26,433						
決算額(千円)	24,584						
(前年決算	25,380)					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金							
<事業概要> 義務教育の円滑な実施のため、経済的な理由で就学が困難な生徒の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。							
52							
<課題、今後の取り組み> 計画的に事務を遂行し、適正に給付します。							
<課題、今後の取り組み> 生徒が安心して学校生活を送れるように、この事業を継続していくことが大切であると考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。							

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 援助が必要な保護者に修学旅行費の一部を給付	3	10	件
②			
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 学校生活に必要な経費を一部給付する	232	234	件
②			
③			

事業CD	055401	事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	所管課	学校教育課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 申請に対して、家庭の経済状況等に応じた補助対象経費を決める支弁区分を判定し、国庫補助の要綱に従って給付事務を行いました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付</td> <td>51</td> <td>74</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	51	74	件	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 支弁区分の判定及び就学に係る経費の一部給付	51	74						件															
②																							
③																							
項	03	中学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)		3,171																					
決算額(千円)		2,597																					
(前年決算		2,515																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
特別支援学級等に在籍する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、校外活動費、修学旅行費等の一部を給付しました。		<課題、今後の取り組み> 特別支援学級の在籍者は年々増加傾向にあるため、事業を継続することが必要と考えています。今後も迅速かつ適切に支給が行えるように努めます。																					
53																							
事業CD	562101	事業名	中学校教育教材事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 各学校が希望する教材備品については学校と連携しながら購入することができ、学校図書館の図書についても学校教諭や学校司書が生徒にとって必要な図書は何か考えながら選書し、中学校における教育環境及び読書環境の整備を実施することができました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 教材備品(図書費含む。)</td> <td>3,329</td> <td>2,722</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>② 教材消耗品</td> <td>2,867</td> <td>2,903</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 教材備品(図書費含む。)	3,329	2,722	千円	② 教材消耗品	2,867	2,903	千円	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 教材備品(図書費含む。)	3,329	2,722						千円															
② 教材消耗品	2,867	2,903						千円															
③																							
項	03	中学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)		5,838																					
決算額(千円)		5,625																					
(前年決算		6,196																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
確かな学力を育む「子どもの学ぶ力」の向上を目指す学習活動につなげるため、中学校における教育環境及び読書環境の充実・整備に努めました。		<課題、今後の取り組み> 学校と教育委員会とで連携し、限りある資源を効率的に運用できるよう整備を進めつつ、生徒にとって魅力のある学びやすい教育環境を整えていきます。																					
54																							

事業CD	562501	事業名	中学校GIGAスクール構想推進事業	所管課	教育総務課																		
会計	一般会計			決算書頁	166	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 学校と教育委員会で連携し、大きなトラブル等なくネットワーク環境等を運営できました。昨年度に引き続き、整備後約10年が経過した大型提示装置の更新整備を実施・完了し、校内のICT教育推進のための環境整備及び改善を行うことができました。 また、学習系ネットワークについては保守委託によりサポートセンターを設置し、学校からの相談やタブレット端末の故障対応を実施することにより、学校において安心してICT機器を活用することができる環境を整えることができました。 なお、安土中学校において学級増となったため、新たにタブレット端末の充電保管庫を設置しました。(充電保管庫1台 319千円)																				
項	03	中学校費																					
目	02	教育振興費																					
予算額(千円)	26,035	決算額(千円)		26,033	(前年決算 28,470)																		
※主な特定財源		国庫支出金		県支出金																			
<事業概要>		生徒の創造性や情報活用能力の育成のため、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境整備を行い、ICT機器を活用した学習活動を充実させました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 大型提示装置の更新</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供</td> <td>23,271</td> <td>22,869</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>③ 学習系ネットワーク保守</td> <td>284</td> <td>284</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 大型提示装置の更新	17	14	台	② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	23,271	22,869	千円	③ 学習系ネットワーク保守	284	284	千円
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 大型提示装置の更新	17	14	台																				
② 教育情報ネットワーク及び校務系システムに係るサービス提供	23,271	22,869	千円																				
③ 学習系ネットワーク保守	284	284	千円																				
55		<課題、今後の取り組み>		整備したICT機器の活用方法については各学校のICT教育担当者が集まるICTリーダー推進部会を中心に、情報共有や連絡を行い、より良い授業や活用ができるように進めていきます。 また、持ち帰り学習を推進するため、AIDリルの導入やフィルタリング機能の整備を行うとともに、モバイルWi-Fiルーターの貸出に対応します。																			
事業CD	600101	事業名	生涯学習推進事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	168	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 社会教育委員・公民館運営審議会において、生涯学習社会づくり実施計画管理、社会教育等を取り巻く状況から取組全般について助言、意見交流等をいただきました。 子ども読書活動について、幼児課とともに就学前を含め子どもの読書活動の推進に取り組みしました。4月23日の「子ども読書の日」では、小学校、中学校に子ども向けのおすすめ本のポスターを配布しました。就学前施設には「うちどく」のリーフレットを配布しました。また、夏休みに読書の機会が増えるよう、小学生・中学生の子どもおすすめ本を載せた「うちどく」ポスターを配布しました。10月の中央公民館講座では「親子クッキング」の後に、ブックトークに取り組んでおられる先生をお招きし、子どもおはなし会を実施しました。11月の「市民読書月間」では、各小・中学校の図書室にあるおすすめ本を学校司書に選んでいただき、ポスターを作成していただきました。各学校の図書室やクラスに掲示して、掲載された本を学年の廊下等手に取りやすいところにおくようにしました。また、市民大学講座で山登りに関連したブックリストを作成し配布しました。第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画の柱である「4つの読書活動(続ける読書、学べる読書、つながる読書、心あそばせる読書)」を掲げ、推進活動をすすると同時に、第3次近江八幡読書推進計画の策定に取り組みしました。																				
項	05	社会教育費																					
目	01	社会教育総務費																					
予算額(千円)	886	決算額(千円)		761	(前年決算 680)																		
※主な特定財源		国庫支出金		県支出金																			
<事業概要>		社会教育委員会の意見、助言等を具体化した事業を實踐し、第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画を推進するとともに、第3次近江八幡読書推進計画の策定に取り組みしました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議の開催</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 子ども読書活動推進委員会の開催</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議の開催	3	3	回	② 子ども読書活動推進委員会の開催	2	5	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議の開催	3	3	回																				
② 子ども読書活動推進委員会の開催	2	5	回																				
③																							
56		<課題、今後の取り組み>		生涯学習社会実現を目指す中、生涯学習を通して自己実現や人材育成、広く社会参加につなげていきます。また、子ども読書活動推進事業では、令和5年度に策定した第3次近江八幡市子ども読書推進計画を関係各課で協力して推進していきます。																			

事業CD	600201	事業名	社会教育関係団体育成事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	168	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 社会教育関係団体助成では、社会教育の発展及び青少年の健全育成に資する団体が行う事業活動に対して補助金を交付し、事業の円滑な運営を支援しました(5事業)。 また、近江八幡市PTA連合会と共同で社会教育関係団体を対象とした人権教育研修会を1回実施し、各団体の会員延べ40人が参加しました。人権学習を内容に含む事業(住みよいまちづくり推進講座)を研修会として指定し、参加を奨励しました。 新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが令和5年5月に移行したことで、各団体においては、段階的にコロナ禍前の体制に戻しながら事業活動が実施されました。人権学習研修会の開催回数が例年より減る中でしたが、一定数の参加がありました。				
項	05	社会教育費					
目	01	社会教育総務費					
予算額(千円)	335	決算額(千円)		335	(前年決算 263)		
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
社会教育関係団体の充実・強化や活動を支援し、市の社会教育環境の活性化を図りました。							
57							
事業CD	600501	事業名	コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	168	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 【コミュニティ・スクール】 ・平成29年度に老蘇小学校においてコミュニティ・スクール(CS)としての取組を始め、設置校を拡大しながら、令和3年度以降は八幡幼稚園、北里幼稚園、金田幼稚園、馬淵幼稚園、安土幼稚園を含むすべての公立幼稚園小学校中学校21校園で学校運営協議会の取組を進めてきました。「地域と学校の協働」をめざす学校運営協議会では、学校の経営方針が示され、子どもたちの様子や地域住民への協力依頼などがなされました。一方、地域からは、めざす地域の子どもの像などが出され、保護者や地域住民が生まれ育った地域のよさを大切にしたいという声があがり、学校の教育目標と地域住民の望む学校像が近づいていく姿が見られました。 ・地域学校協働本部事業と連携しながら進んでいるこの事業では、ふるさと教育や防災教育・環境学習において、地域ボランティア講師による授業支援を中心に、事業の成果が顕著に表れています。 ・令和5年度は、学校運営協議会の推進に向けて、管理職と委員を対象に研修会と情報交換会をもち、各校園の運営の仕方について学びました。				
項	05	社会教育費					
目	01	社会教育総務費					
予算額(千円)	4,848	決算額(千円)		4,757	(前年決算 5,660)		
※主な特定財源							
国庫支出金							
県支出金							
<事業概要>							
地域社会と学校が協働して活動を行うネットワークを形成すると共に、新しい繋がりによる地域の教育力の向上・充実を図りました。							
58							
		<課題、今後の取り組み> 【コミュニティ・スクール】学校運営協議会設置当時から各校の管理職も代わっていることから、課題やねらい、委員の役割についての理解を改めて熟議する必要があります。委員だけでなく、教員や地域の方にも制度や取組について改めて周知を図る必要があります。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 社会教育関係団体助成	5	5	事業
② 社会教育関係団体等人権教育研修会開催	1	1	回
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 学校運営協議会の設置数	21	21	校園
② 地域学校協働本部事業委託校園数	23	23	本部
③ 地域学校協働活動推進員(旧コーディネーター)配置人数	23	23	人

事業CD	600502	事業名	家庭教育支援基盤構築事業	所管課	生涯学習課																
会計	一般会計			決算書頁	168 資料 無																
款	10 教育費	<成果・実績>																			
項	05 社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全12小学校に家庭教育支援員を配置し、各小学校の現状や課題に応じて、保護者からの子育ての相談に対応したり、保護者対象のサロンを開催したりするなど、幅広く支援活動をしました。 ・子育てサロンを5回開催しました。講師として、安倍映子教育委員や小林美保子スクールソーシャルワーカーを招き、子育てや不登校対応について保護者が話せる場・相談できる場を設けました。参加者から「よかった」「たいへんよかった」という感想を得ることができました。 ・家庭教育支援員の連絡会を5回行いました。日々の活動の情報交換・研修の機会とし、連絡会には、本市子育てコーディネーターの岡田さよ子氏をアドバイザーとして招き、支援員の活動への助言をいただきました。 ・家庭教育推進協議会を2回開催し、市内の現状とそれに対する手立てについて話し合うことができました。子どもたちへの関わり方や困難を抱える家庭や保護者の支援など、家庭教育支援に関する現状と課題について、熱心に議論することができました。 																			
目	01 社会教育総務費																				
	予算額(千円) 1,837																				
	決算額(千円) 1,834																				
	(前年決算 626)																				
※主な特定財源																					
国庫支出金																					
県支出金																					
<事業概要>																					
身近な小学校区単位で、学校・家庭・地域をつなぐ家庭教育支援員を配置し、連携できる体制を整え、子育て講演会や相談・居場所づくりを行いました。																					
59																					
事業CD	600503	事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課	生涯学習課																
会計	一般会計			決算書頁	168 資料 無																
款	10 教育費	<成果・実績>																			
項	05 社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、桐原小学校、桐原東小学校、北里小学校を加えた市内11小学校で放課後子ども教室を開催しました。内容は、学力補充だけでなくニュースポーツ、防災学習、太鼓練習など各校、各地域で工夫していただき、子どもたちの安心・安全な居場所を作ることができました。しかし、事業の認知度が低いため、今後の開催に向けて工夫を凝らした啓発活動をしていく必要があります。令和6年度から、新たに島小学校において事業に取組み、市内全12小学校で開催します。学校現場の負担にならないよう、学校に隣接したコミュニティセンターでの実施も充実させながら、下校時の安全確保と放課後児童クラブとの連携強化に努め、魅力ある事業にしていきたいと思ひます。 																			
目	01 社会教育総務費																				
	予算額(千円) 843																				
	決算額(千円) 825																				
	(前年決算 770)																				
※主な特定財源																					
国庫支出金																					
県支出金																					
<事業概要>																					
各小学校区において、児童が安全に有意義に放課後を過ごす居場所を作るため、地域の力を活用した放課後子ども教室の推進に取り組みました。																					
60																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 放課後子ども教室</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>② 各校家庭教育支援員との連携</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 放課後子ども教室	12	12	校	② 各校家庭教育支援員との連携	3	3	回	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																		
① 放課後子ども教室	12	12	校																		
② 各校家庭教育支援員との連携	3	3	回																		
③																					
		<課題、今後の取り組み>																			
		<ul style="list-style-type: none"> 親育ちと学習機会の充実として、保護者のニーズや学校の実態に応じて子育てをテーマにしたサロンを開催することで、保護者間の情報交換とつながりを広げ、悩みのある保護者の支援に努めます。また、家庭教育支援体制の充実を図るため、市内の学校と連携・協力して、家庭教育支援員への情報提供や助言等を目的とした情報交換会を定期開催し、支援員同士の連携を深められるよう、事業の充実に取組みます。 																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 放課後子ども教室</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 放課後子ども教室	8	11	校	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																		
① 放課後子ども教室	8	11	校																		
②																					
③																					
		<課題、今後の取り組み>																			
		<ul style="list-style-type: none"> 全小学校での設置を受け、各小学校とコミュニティセンターに協力を依頼し、準備や学習支援員の確保に努めます。また、来年度新たに開設される島小学校を含め、各小学校での取組の様子を視察し、内容や安全面等について問題がないかを把握できるようにします。 																			

事業CD	600701	事業名	夫婦都市児童相互交流事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	168	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 両市合わせて、計44名(富士宮市21名・近江八幡市23名)の児童が参加しました。昨年度同様に、コロナ対策を講じて、適切な規模で行うことができました。 (活動内容) 一日目、開会式・仲間づくり活動・富士山学習 二日目、富士山5合目の散策・牧場体験・富士宮焼きそば作り・ タベのつどい(キャンドルファイヤー) 三日目、富士宮市名所めぐり・閉会式 交歓会を通して、両市の伝統文化の交流や児童同士の友好を深めることができました。				
項	05	社会教育費					
目	01	社会教育総務費					
予算額(千円)	517	決算額(千円)		507	(前年決算 1,881)		
※主な特定財源		国庫支出金					
		県支出金					
<事業概要>		夫婦都市の富士宮市と近江八幡市の小学生宿泊型交流体験活動を行いました。令和4年度は近江八幡市で開催しましたが、第53回目となる令和5年度は富士宮市で開催しました。					
61		<課題、今後の取り組み> 令和6年度は、近江八幡市での開催となります。コロナ禍以降、両市の担当課では、「感染対策だけでなく、児童の健康状態の把握も含め安全に実施していくためには、令和4年度、5年度で行った規模での実施を継続していく」ことで合意しています。今度も、本市は各校2名ずつの24名の参加を基本としていきます。文化交流(江州音頭)の取組は継続していきたいと考えています。					
事業CD	604101	事業名	公民館運営事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 市民大学講座：歴史文化、自然、生活など幅広いテーマにより、自己学習・自己実現等につなげていくきっかけとなりました。全5回実施(書道、地域の歴史等)。 中央公民館講座：市全域における地域資産等の魅力再発見や課題解決への取組意識高揚のきっかけとなりました。全3回。 地域課題等学習講座：環境・食育・健康・子育て・防犯防災・情報教育・消費者教育などのテーマの中から、地域が主体的に課題に取り組むための講座を実施しました。全3回。				
項	05	社会教育費					
目	05	公民館費					
予算額(千円)	425	決算額(千円)		379	(前年決算 350)		
※主な特定財源		国庫支出金					
		県支出金					
<事業概要>		幅広い学習機会の提供のため、中央公民館講座・市民大学講座や各まちづくり協議会と連携した地域課題等学習に取り組みました。					
62		<課題、今後の取り組み> 市民ニーズに沿ったテーマや、現代的課題等、各種課題解決へのきっかけとなるテーマを念頭に置きながら、継続して幅広く学習機会の提供に取り組んでいきます。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 事前研修会の開催	2	2	回
② 児童交歓会の開催	3	3	日
③			

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 市民大学講座	5	5	回
② 中央公民館講座	3	3	回
③ 地域課題等学習講座	3	3	回

事業CD	604301	事業名	青少年育成事業	所管課	生涯学習課																			
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無																	
款	10	教育費	<成果・実績> 令和4年度より成年年齢が18歳に引き下げられましたが、当市では従来と同じく20歳を迎える方を対象として開催しました。 主に20歳を迎える市民11名で実行委員会を組織し、実行委員会を7回開催しました。実行委員は成人式の準備・企画等を行い、成人式当日の司会や運営を行いました。 式典当日は、前年度までのコロナ禍における2部開催から1部制に戻して開催しました。式典には613名が参加し、例年並みの参加率(76.7%)を維持しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 成人式(参加者)</td> <td>572</td> <td>613</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 成人式(参加者)	572	613	名	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度							単位															
① 成人式(参加者)	572	613							名															
②																								
③																								
項	05	社会教育費																						
目	06	青少年教育費																						
予算額(千円)	296																							
決算額(千円)	275																							
(前年決算	284)																						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																								
<事業概要> 市民の二十歳の節目を祝うとともに、大人としての自覚と責任を認識する場となるよう記念式典を開催しました。			<課題、今後の取り組み> 人生の節目であり、社会人としての自覚につなげる式典として、参加しやすい形態と内容の充実に向けて検討を重ねながら、継続して開催していきます。																					
63																								
事業CD	604501	事業名	青少年対策事業	所管課	生涯学習課																			
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無																	
款	10	教育費	<成果・実績> 近江八幡市青少年育成市民会議へ事業を委託し、青少年の健全育成を目的とした、以下の各種活動を進めました。「伝えよう！熱い想い」を開催し、中学生の発表機会の提供に資することができました。 6月 伝えよう！熱い想い2023 7月 愛の学校訪問 7～9月 青少年健全育成標語募集 8・11月 巡回補導 11月 子ども・若者育成支援強調月間内各種啓発活動 青少年育成市民大会 関係19団体・機関の代表者による青少年問題協議会を開催し、各団体・機関からの報告を基に、青少年の状況や課題について確認し、不登校や不良行為への課題解決へ向けた取組みについて意見を交わしました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 近江八幡市青少年育成推進員の設置</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>② 近江八幡市青少年育成市民会議事業</td> <td>183</td> <td>168</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 近江八幡市青少年育成推進員の設置	1	1	人	② 近江八幡市青少年育成市民会議事業	183	168	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度							単位															
① 近江八幡市青少年育成推進員の設置	1	1							人															
② 近江八幡市青少年育成市民会議事業	183	168							件															
③																								
項	05	社会教育費																						
目	07	青少年対策費																						
予算額(千円)	2,982																							
決算額(千円)	2,791																							
(前年決算	3,002)																						
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																								
<事業概要> 青少年育成市民会議の活動を支援し、青少年の健全育成への全市的な取組を進めました。			<課題、今後の取り組み> 青少年の健全育成活動については、引き続き関係各機関と連携しながら活動を展開していきます。																					
64																								

事業CD	604601	事業名	子ども・若者育成支援事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 令和4年度の相談窓口新設以降、市広報・HPやチラシ配布等による啓発周知を進めるとともに、相談体制の構築と関係機関との連携等に努めてきました。令和5年度の状況として相談件数が延べ273件、ひきこもりや不登校を主訴とする対応は全体の約7割となっています。また、支援機関が重複する相談が多いことから、相互連携の強化と円滑化等を目的に、協議会会議(計3回)を開催して、関係機関の顔が見える関係づくりを進めました。																				
項	05	社会教育費																					
目	07	青少年対策費																					
		予算額(千円) 3,151 決算額(千円) 3,081 (前年決算 2,859)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者の相談支援に、関係機関によるネットワーク機能を構築しながら、相談者に寄り添う相談支援に取り組みました。																							
65																							
事業CD	604701	事業名	少年センター運営事業	所管課	生涯学習課																		
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 近江八幡・竜王少年センター運営委員会において活動方針、活動内容等を協議しながら取り組みました。 ○薬物乱用防止活動 薬物乱用防止教室/7校実施。防煙教室/3校実施。標語募集/1校実施。 ○無職少年対策活動 指導5名、支援5名、就労・進学5名。 ○広報・啓発活動 少年センターだより年2回発行、あすくるHARのリーフレット配布、啓発人形劇実施5回 ○非行少年等立ち直り支援(あすくる)活動 無職少年等10名・高校生5名・中学生5名に対する支援(就学支援12回、就労支援24回、家庭支援48回、自分探し659回)																				
項	05	社会教育費																					
目	08	少年センター運営費																					
		予算額(千円) 20,172 決算額(千円) 20,172 (前年決算 20,153)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
近江八幡・竜王少年センターを竜王町と共同設置し、近江八幡警察署と連携のもと、少年補導委員会活動を支援し、総合的な非行防止・立ち直り支援を行いました。																							
66																							
				<課題、今後の取り組み> 発達障害など特性のある少年や不登校・ひきこもり等の少年の支援が増えていることから、学校や医療機関等を含めた関係機関との連携を強化していきます。あすくるHARにおいては、少年にとって「つながる場所」「居心地の良い場所」、保護者にとって「気軽に相談できる場所」という理解度と認知度向上のため、継続して啓発を進めていきます。																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 街頭補導活動の実施</td> <td>665</td> <td>613</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>② 相談活動の実施</td> <td>219</td> <td>214</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>③ 店舗立入調査の実施</td> <td>145</td> <td>122</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 街頭補導活動の実施	665	613	回	② 相談活動の実施	219	214	回	③ 店舗立入調査の実施	145	122	回
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 街頭補導活動の実施	665	613	回																				
② 相談活動の実施	219	214	回																				
③ 店舗立入調査の実施	145	122	回																				

事業CD	604901	事業名	人権教育推進事業	所管課	生涯学習課		
会計	一般会計			決算書頁	174	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> 生きぬく力の礎育み推進事業を市内4中学校区すべてで実施しました。定期的に各校園所の担当者や加配教員の連絡会議を開催し、各校園所の人権教育等に関する実践を交流するとともに、特に困難な課題のある子どもの状況について情報共有を行い、解決に向けた方策を検討しました。本事業の事務局である生涯学習課が中心になることにより、効果的な連携をとることができました。また、小学校4年生から中学校3年生までの生徒を対象に、年に2回のアンケートを実施し、子どもの様子や変容をつかみ、子どもへの関わり方や家庭も含めた支援の方策について考える材料としました。さらに、各中学校区で、実践研究会を実施し、校区内の各校園所の全教職員・保育士が一斉に集まり、講演会、研究会を通して子どもの課題を共有して、校区での共通実践づくりをすすめました。全ての市立幼稚園、こども園、小中学校の人権教育推進主任、同和教育主任を集めて3回の主任会を開催しました。情報交換や講演、実践報告を行って、主任としての資質向上を図りました。また、市立校園所の全教職員への「令和5年人権教育推進計画」の配布と各校園所への実践事例集の配布によって、各校園所での人権教育の充実を図りました。				
項	05	社会教育費					
目	09	人権教育振興費					
予算額(千円)	593	決算額(千円)		546	(前年決算 656)		
※主な特定財源		国庫支出金		県支出金			
<事業概要>		子どもたちの学ぶ意欲を支える自尊感情を高めるための方策を検討し、実践に結びつけました。また、様々な人権教育を行うための職員研修に取り組みました。					
67				<課題、今後の取り組み> 各中学校区において、『「生きる力」育みプラン』と連携しながら、校区の共通テーマに沿った研修とその実践が必要です。また学校現場では、若い教員が年々増え、これからの人権教育をどのように進めていくのか検討することが求められています。現場の声を踏まえた上で有効な研修を実施し、人権通信も活用しながら、さらに充実した人権教育を推進します。社会教育においても、日常生活の中で人権を大切にする態度や行動に現れる人権教育を推進し、市民全体に、近江八幡市人権擁護都市宣言がさらに普及し、人権が息づくまちの実現に努めます。			
事業CD	082201	事業名	図書館施設維持管理事業	所管課	近江八幡図書館		
会計	一般会計			決算書頁	176	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・施設維持管理及び修繕を行いました。また、施設及び設備の老朽化が進んでいることから、近江八幡図書館及び安土図書館の老朽度調査を実施しました。 ・近江八幡館のWi-Fi環境の整備を行いました。				
項	05	社会教育費					
目	11	図書館費					
予算額(千円)	31,118	決算額(千円)		29,853	(前年決算 70,240)		
※主な特定財源		国庫支出金		県支出金			
<事業概要>		市民に安心、安全に利用してもらえるよう施設維持管理及び計画的な修繕を行いました。					
68				<課題、今後の取り組み> 老朽度調査の結果をもとに、今後の施設の修繕計画を立て、適切に修繕等を行います。			

事業CD	605101	事業名	図書館運営事業	所管課	近江八幡図書館																						
会計	一般会計			決算書頁	176	資料	無																				
款	10	教育費	<成果・実績>																								
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・図書配送サービスは、年間48回実施し、利用者2,584人、7,695冊(令和4年度は50回、2,078人7,500冊)の貸出がありました。利用人数は508人増え、前年度比124%となりました。移動図書館と併せて利用する利用者もみられ、遠隔サービスの充実を図ることができました。また、コロナ禍により中止となっていた医療センターへの配送も再開し、年間307冊の貸出がありました。 ・沖島配本サービスは、年6回実施、82人が利用し、347冊の貸出がありました。 ・障がい者サービスとして、2名にデジター図書3点を提供しました。(うち2点は郵送による貸出) ・「近江八幡市立図書館ボランティア」23名により、2,321冊の本の修理と320冊の本の整備を行いました。 ・デジタルアーカイブ事業では、市内外問わずアクセスされ、郷土関係の調査や貴重資料の閲覧に役立ちました。 ・図書館内の集会施設等の貸出は、全100件(うち7件が有料)1,088人の利用がありました。 ・スマートフォン等を活用した資料の貸出や、Webで資料の延長を可能にするなど、利用者の利便性を向上しました。 																								
目	11	図書館費																									
	予算額(千円)	40,749																									
	決算額(千円)	38,299																									
	(前年決算)	33,250																									
※主な特定財源																											
国庫支出金																											
県支出金																											
<事業概要>																											
図書館サービスを円滑かつ迅速に行うため、図書館システムやインターネット予約等の充実を図り、情報提供及び読書活動の普及等図書館業務を行いました。																											
69																											
事業CD	605301	事業名	読書活動推進事業	所管課	近江八幡図書館																						
会計	一般会計			決算書頁	176	資料	無																				
款	10	教育費	<成果・実績>																								
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の近江八幡館・安土館の総貸出冊数は580,753冊(個人貸出冊数571,922冊・団体貸出冊数8,831冊)となりました(移動図書館を含んだ貸出冊数は601,462冊、うち個人貸出冊数586,812冊・団体貸出冊数14,650冊)となりました。 ・個人貸出冊数は、令和5年発行の『図書館年鑑2023』『人口8万人以上10万人未満の部』において、全国11位となりました(令和3年度実績)。※令和2年度:12位、元年度:16位、平成30年度:19位 ・市民一人当たりの貸出冊数は7.0冊(移動図書館を含むと7.2冊)となりました。(県内各市町平均6.74冊) ・リクエストを60,774件、レファレンスを3,707件受け、利用者の要求に迅速かつ確に答えました。 ・ゆっくぶっくへの除籍本は3,246冊、前年度の除籍本と合わせて4,048冊が販売されました。近江八幡館では、毎月(月2回実施)100人前後が来場され、利用が定着し、市民交流の場となっています。また、安土館においても令和5年度から実施しました。 																								
目	11	図書館費																									
	予算額(千円)	19,313																									
	決算額(千円)	19,312																									
	(前年決算)	19,212																									
※主な特定財源																											
国庫支出金																											
県支出金																											
<事業概要>																											
社会情勢に即した新しい情報・市民ニーズに的確に応えられる資料提供が行えるよう、限られた予算を最大限に活用し更なる図書及び資料の充実を図りました。																											
70																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館除く一人あたりの資料費)</td> <td>235</td> <td>236</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>② 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館含む一人あたりの資料費)</td> <td>311</td> <td>313</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>③ 市民の求める資料を確実に提供する(移動図書館除く一人あたりの個人貸出冊数)</td> <td>6.9</td> <td>7.0</td> <td>冊</td> </tr> <tr> <td>④ 市民の読書領域を広げる(月例コーナーからの貸出数)</td> <td>44,662</td> <td>45,927</td> <td>冊</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館除く一人あたりの資料費)	235	236	円	② 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館含む一人あたりの資料費)	311	313	円	③ 市民の求める資料を確実に提供する(移動図書館除く一人あたりの個人貸出冊数)	6.9	7.0	冊	④ 市民の読書領域を広げる(月例コーナーからの貸出数)	44,662	45,927	冊
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																								
① 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館除く一人あたりの資料費)	235	236	円																								
② 市民のニーズにあった資料の購入(移動図書館含む一人あたりの資料費)	311	313	円																								
③ 市民の求める資料を確実に提供する(移動図書館除く一人あたりの個人貸出冊数)	6.9	7.0	冊																								
④ 市民の読書領域を広げる(月例コーナーからの貸出数)	44,662	45,927	冊																								
<課題、今後の取り組み>		<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに応えられるよう幅広く選書を行い、また、コーナー展示により新刊ではない資料を魅力的に見せることで蔵書の有効活用及び市民の読書領域を広げ、図書館利用のさらなる活性化を図ります。 																									

事業CD	605401	事業名	ブックスタート運営事業	所管課	近江八幡図書館		
会計	一般会計			決算書頁	176	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の乳幼児(0歳～3歳)の新規登録者は510人で、前年度比123%となりました。乳幼児の貸出冊数は15,813冊(令和4年度14,405冊)で前年度比110%となり、ブックスタート時の保護者への啓発が利用につながったと考えられます。 ・乳幼児向けのおはなし会「おはなしメリーゴーランド」の参加人数も、令和4年度の227人から令和5年度は447人と197%と増し、乳幼児や保護者がともに本に親しむ機会を提供することができました。 ・ブックスタート時に配布した絵本は『いないいないばあ』108冊、『くだもの』240冊、『ごぶごぶごぼごぼ』206冊で、計554人の4か月児に配布し、いつでも家庭で絵本に触れられる環境づくりに努めました。 				
目	11	図書館費					
		予算額(千円)	860				
		決算額(千円)	858				
		(前年決算)	703				
		※主な特定財源					
		国庫支出金					
		県支出金					
		<事業概要>					
		4か月児健診時、赤ちゃんの保護者にメッセージを伝え、絵本をひらく楽しい体験と一緒に絵本を贈り、家庭に本のある環境づくりを推進しました。					
		71					
事業CD	605601	事業名	本のまち！動く図書館事業	所管課	近江八幡図書館		
会計	一般会計			決算書頁	176	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績>				
項	05	社会教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から軽自動車改造型「はちっこぶつ号ミニ」を導入し、図書館から遠い就学前施設8園への定期巡回を始めました。また、「はちっこぶつ号」では一般利用者向けの市内各コミュニティセンター(八幡、沖島除く)9か所・旧保健所跡地・サンビレッジ近江八幡・フレンドマート八幡鷹飼店・フレンドマート安土店の計13か所と、図書館から遠い地域の公立の就学前施設4か所及び公立小中学校7か所の計11か所、併せて24か所をほぼ毎月定期巡回しました。 ・通常の定期巡回以外に、水郷の里マラソン大会や子どもセンター、未巡回の就学前施設等にはちっこぶつ号で6回、はちっこぶつ号ミニで8回、計14回の特別巡回を実施し、移動図書館車のPR及び読書推進を図りました。 ・はちっこぶつ号ミニでの就学前施設巡回では、おはなし会を必ず実施し、本を貸し出すだけでなく、ストーリーリングを楽しむことで、想像力を養い、就学までに聞く姿勢を身につけてもらえるよう努めました。 				
目	11	図書館費					
		予算額(千円)	9,115				
		決算額(千円)	8,776				
		(前年決算)	15,206				
		※主な特定財源					
		国庫支出金					
		県支出金					
		<事業概要>					
		移動図書館車を運行し、市内のどんな場所でも誰もが本に触れられる環境づくりを行うとともに、市全域にわたる読書推進を図りました。					
		72					
		<課題、今後の取り組み>					
		<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車業務は地域住民に直接貸出サービスを行うため、コミュニケーション能力と幅広い本の知識が必要です。そのため、司書の資質の向上が課題です。 ・すべての市民に読書の機会を保障し、親の興味関心に関わらず、子どもたちが自ら本を借りることができる環境づくりを行うことが必要です。 					

事業CD	650101	事業名	学校保健管理運営事業	所管課	学校教育課		
会計	一般会計			決算書頁	178	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ・学校三師に協力いただきながら、児童生徒および教職員の健康の保持増進に取り組むことができました。 ・「脂質検査」は、5年生の81.9%が受け、そのうち、有所見者(判定3・4)は16.71%でした。有所見者には、食事アンケートと運動調査を基に生活改善を促し、その中でも要指導の児童と、肥満度30以上の児童には「親子でここに健康教室」への参加を呼びかけ、親子で直接医師や栄養教諭からの指導を受ける機会に繋がりました(参加者12組の親子)。 ・平成28年度から、教職員に対して「ストレスチェック」が導入され、令和5年度は、478名(対象者の91.7%)が受検し、職場評価結果は各校に送付して職場環境の改善に役立てることができました。 ・「学校保健を語る会」では、中島みちる氏による『子どもの心が健康に育つための言葉がけや接し方』と題した講演会を開催しました(参加者123名)。脳科学と関連させながら、日ごろの子育ての場面での具体的な言葉がけなど、保護者にとって大変興味深い内容を分かりやすく伝えていただきました。				
項	06	保健体育費					
目	01	学校保健費					
予算額(千円)	38,390	決算額(千円)		36,929	(前年決算 36,069)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		学校保健安全法に基づき、学校における保健管理及び安全管理のため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師と連携し、事故・疾患対策を含む学校保健事業を行いました。					
73		<課題、今後の取り組み> ・児童生徒の定期健康診断の受診率が100%になるように未検者のフォローをする必要があり、継続的に取り組みます。また、児童生徒および教職員の健康の保持増進のため、学校保健会や他部署、他機関と緊密に連携をとります。 ・学校保健事業の大半は学校保健会に委託しているため、協力しながら実施するとともに、「学校保健を語る会」は保護者への啓発の場として有効であるため、より一層参加者が増えるよう、内容や方法を検討精査して取り組んでいきます。					
事業CD	020108	事業名	スポーツ推進委員報酬	所管課	スポーツ課		
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無
款	10	教育費	<成果・実績> ①水郷の里マラソンなど、市が主催する各種スポーツイベントへ参画し、運営協力しました。 ・参画したイベント回数 7回、参画した委員数 のべ148人 ②ニュースポーツ出前講座では、学区や自治会単位での依頼や各小学校親子活動などへスポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行いました。 ・派遣回数 28回、派遣人数 のべ83人、参加者 1,356人 ③全国や近畿地区、滋賀県など各種研修会へ参加し、スポーツ指導に関する教養を深め、他府県、他市町委員との情報共有を図りました。 ・参加した研修回数 6回、参加者数 のべ73人				
項	06	保健体育費					
目	02	体育振興費					
予算額(千円)	4,356	決算額(千円)		4,356	(前年決算 4,345)		
※主な特定財源		国庫支出金 県支出金					
<事業概要>		市が実施するスポーツイベントへの参画及びスポーツの指導、ニュースポーツ出前講座の開催などを行うスポーツ推進委員を委嘱し、スポーツの推進を図りました。					
74		<課題、今後の取り組み> 「ニュースポーツ出前講座」においては、スポーツ推進委員の指導により、ニュースポーツのルールや進め方を覚えてもらい、次回以降は各団体にニュースポーツを楽しんでもらうのが講座の目的ですが、スポーツ推進委員の派遣が毎年、毎回の定番化となっており、本来の目的が達成しづらい状況です。					

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 児童生徒の健康診断の実施	5	5	回
② 教職員健康診断の実施	5	7	日
③ 市学校保健会事業・各種教室等の開催	2	2	日

事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位
① 市主催スポーツイベントへの参画	7	7	回
② ニュースポーツ出前講座への派遣	25	28	回
③ 各種研修会への参加	5	6	回

事業CD	651101	事業名	スポーツ振興推進事業	所管課	スポーツ課																
会計	一般会計			決算書頁	180																
款	10	教育費	<成果・実績> 2023水郷の里マラソン大会や第70回記念近江八幡市駅伝競走大会、スポーツフェスティバル2023などを開催し、市民の健康増進とスポーツの普及に努めました。 ・2023水郷の里マラソン大会 1,476人 ・第70回記念近江八幡市駅伝競走大会 490人 ・第70回近江八幡市駅伝競走大会記念講演会 230人 ・スポーツフェスティバル2023 923人 ・第45回市民軟式野球大会 215人 ・第44回市民バレーボール大会 167人 ・第40回トリプルテニス大会 45人 ・市民総合スポーツ大会 2,282人 ・第30回親善スポレック大会 22人 ・近江八幡スキー教室in近江八幡 雪不足等により中止		資料	有															
項	06	保健体育費																			
目	02	体育振興費																			
予算額(千円)	26,428																				
決算額(千円)	25,858																				
(前年決算)	33,989																				
※主な特定財源																					
国庫支出金																					
県支出金																					
<事業概要>																					
スポーツをする機会の充実を図るため、各種スポーツ大会等を開催し、市民の健康づくりなど、スポーツの推進を図りました。																					
75																					
		<課題、今後の取り組み> 常に新しい情報を収集するとともに、周知方法についても工夫を凝らし、誰もが参加できる大会やイベントの企画・運営、レクリエーションスポーツの情報発信などにより、市域から各学区へのスポーツ交流の取り組みへと繋げていきます。 また、第3期近江八幡市スポーツ推進計画に基づき、アクションプランに掲げた事業に取り組み、効果的にスポーツ推進を図ります。																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 各種スポーツ大会・イベントの開催</td> <td>5,113</td> <td>5,850</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 各種スポーツ大会・イベントの開催	5,113	5,850	人	②				③					
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																		
① 各種スポーツ大会・イベントの開催	5,113	5,850	人																		
②																					
③																					

事業CD	651101	事業名	スポーツ振興推進事業	所管課	スポーツ課
------	--------	-----	------------	-----	-------



2023水郷の里マラソン大会



第70回記念近江八幡市駅伝競走大会 記念講演会



第45回市民軟式野球大会



第44回市民バレーボール大会

事業CD	651102	事業名	スポーツ教室運営事業	所管課	スポーツ課																
会計	一般会計			決算書頁	180																
款	10	教育費	<成果・実績> 各種スポーツ教室を開催し、市民のスポーツ機会の充実と健康増進を図りました。 ・ゴルフ教室(春コース) 月曜コース110人/金曜コース53人 ・ゴルフ教室(秋コース) 月曜コース92人/金曜コース60人 ・ハンドボール教室(前期) 779人 ・ハンドボール教室(後期) 597人 ・ソフトテニス教室 311人 ・ナイターテニス教室 150人 ・リズムトレーニング小学生夏季教室 70人 ・なぎなた教室 45人 ・美upヨガ教室 21人 ・テニス教室・キッズテニス教室 122人 ・日本代表選手とカヌー体験教室 13人 ・パラスポーツ体験会 100人 <div style="text-align: right;">【12教室・参加者2,523人】</div>	資料	有																
項	06	保健体育費																			
目	02	体育振興費																			
予算額(千円)	1,638																				
決算額(千円)	1,565																				
(前年決算)	1,149																				
※主な特定財源																					
国庫支出金																					
県支出金																					
<事業概要>																					
スポーツをする機会の充実を図るため、市民が気軽に参加できるスポーツ教室を開催し、市民の健康づくりなど、スポーツの推進を図りました。																					
76																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 各種スポーツ教室の開催</td> <td>1,861</td> <td>2,523</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 各種スポーツ教室の開催	1,861	2,523	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																		
① 各種スポーツ教室の開催	1,861	2,523	人																		
②																					
③																					
		<課題、今後の取り組み> 障がい者の参加を促すためには、関係団体や保護者等の協力が必要であるため、理解を深め、より参加しやすい環境整備やメニューを検討していく必要があると考えます。また、障がい者と健常者の交流の機会を設けることも必要であり、次年度以降もパラスポーツ体験会等の開催により、障がい者スポーツの魅力発信と障がい者への理解の推進を図っていきます。																			

事業CD	651102	事業名	スポーツ教室運営事業	所管課	スポーツ課
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ナイターテニス教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>なぎなた教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>パラスポーツ体験会 (サウンドテーブルテニス)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>パラスポーツ体験会(ゴールボール)</p> </div> </div>					

事業CD	651301	事業名	学校体育施設開故事業	所管課	スポーツ課																																
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無																														
款	10	教育費	<成果・実績> 学区ごとの開放委運営委員会へ施設の受付・管理業務等を委託し、身近なスポーツ施設として開放することで、各学区の様々なスポーツ団体など、54,004人の利用がありました。 ・開放校数 15校 ・開放時間 6,883時間 ・利用者数 54,004人																																		
項	06	保健体育費																																			
目	02	体育振興費																																			
予算額(千円)	2,523	決算額(千円)		2,472	(前年決算 1,996)																																
※主な特定財源																																					
国庫支出金																																					
県支出金																																					
<事業概要>																																					
市民のスポーツ活動の場として身近な学校体育施設を開放し、青少年の健全育成と地域スポーツの推進を図りました。																																					
77																																					
<table border="1" data-bbox="496 557 1396 725"> <thead> <tr> <th colspan="4">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>学校体育施設稼働率(夜間)</td> <td>52</td> <td>59</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位	①	学校体育施設稼働率(夜間)	52	59	%			②							③													
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動				令和4年度	令和5年度	単位																															
①	学校体育施設稼働率(夜間)	52	59	%																																	
②																																					
③																																					
<課題、今後の取り組み>																																					
管理者が各校体育館等に常駐していないため、防犯・防災等が各学区開放運営委員会に委ねられている状況となっています。このため、防犯・防災等の啓発を開放運営委員会が定期的に行うことが重要となります。また、公共施設予約システムによって運営する学区が少なく、大半がメールや紙ベースでのアナログ方式でのやり取りであり、事務手続きの間違いの原因となり得ることから、全施設のシステム運用実現に向け取り組みます。																																					
77																																					
事業CD	652301	事業名	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課																																
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	有																														
款	10	教育費	<成果・実績> 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 近江八幡市実行委員会」に負担金を支出しました。 負担金 1,500万円																																		
項	06	保健体育費																																			
目	02	体育振興費																																			
予算額(千円)	16,875	決算額(千円)		16,621	(前年決算 17,238)																																
※主な特定財源																																					
国庫支出金																																					
県支出金																																					
<事業概要>																																					
第79回国民スポーツ大会開催に向けて、円滑な運営に必要な準備を行う「近江八幡市実行委員会」にかかる経費を市が負担しました。また、事務局の運営に必要な経費を負担しました。																																					
<課題、今後の取り組み>																																					
今後も大会開催に向けた円滑な運営・準備のために、適切に負担金を支出します。																																					
78																																					

事業CD	652301	事業名	第79回国民スポーツ大会運営準備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課
------	--------	-----	--------------------	-----	------------

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 近江八幡市実行委員会」事業例

大会啓発イベントの実施



開催800日前イベント

啓発グッズ等の制作・活用



公用車のラッピング



トートバッグ

先催地の調査研究(大会視察等)



霧島市 ハントホール競技



大城町ドライアスロン競技

事業CD	083101	事業名	給食センター施設維持管理事業	所管課	学校給食センター																		
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 安全・安心な学校給食を提供するため、給食センター施設及び各校園の配膳室等の施設修繕について46件(12,998千円)、物品修繕について7件(998千円)、給食センター施設のボイラ設備や冷温水機等の保守点検のための管理委託として11件(11,220千円)を行い、給食センター施設の維持管理に努めました。																				
項	06	保健体育費																					
目	03	学校給食費																					
予算額(千円)		34,544																					
決算額(千円)		32,395																					
(前年決算		31,642																					
※主な特定財源 国庫支出金 県支出金																							
<事業概要> 安全・安心な学校給食を提供するため、給食センター施設及び各校園の配膳室等の維持管理や衛生管理を行いました。																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 施設修繕対応</td> <td>-</td> <td>46</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 物品修繕対応</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③ 維持管理委託</td> <td>-</td> <td>11</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>								事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 施設修繕対応	-	46	件	② 物品修繕対応	-	7	件	③ 維持管理委託	-	11	件
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 施設修繕対応	-	46	件																				
② 物品修繕対応	-	7	件																				
③ 維持管理委託	-	11	件																				
<課題、今後の取り組み> 今後も安全・安心に学校給食を提供するため、年間を通して施設等の維持管理に努め、設備の故障等不具合が発生した場合には、速やかに修繕対応を実施します。																							

事業CD	655201	事業名	給食センター運営事業	所管課	学校給食センター																						
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無																				
款	10	教育費	<成果・実績> 「学校給食年間実施計画」に基づき188回の給食提供を行いました。 学校給食運営については、「学校給食運営委員会」の他3つの委員会を開催し、小児科医や校園長、保護者、栄養教諭等様々な立場の意見を反映するとともに、調理業務の受託業者との情報共有を徹底し、安全・安心な学校給食の提供に努めました。献立内容については、「はちまんの日」を中心に地場産物や特産品、郷土料理を取り入れた献立提供を行うことで、ふるさと教育や地産地消の推進にも取り組みました。近年課題となっている“食品ロス”や“減塩”を重点取組とし、市ホームページ、SNSで啓発を行いました。また、本市「市内産近江牛消費拡大事業」を活用し、市内産近江牛を学校給食で提供し近江牛のおいしさや魅力を伝えました。(近江牛7回) 学校給食費の物価高騰による値上げ分(10%:30,066千円)については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし保護者負担を据置したことで、保護者負担を増やす事なく、「学校給食摂取基準」を満たした学校給食を提供しました。																								
項	06	保健体育費																									
目	03	学校給食費																									
予算額(千円)	714,006	決算額(千円)		705,502	(前年決算 643,781)																						
※主な特定財源		<事業概要> 安心安全な学校給食を提供するため、学校給食食材の購入、調理等業務の民間委託等を行いました。また、学校給食費の徴収管理業務を行いました。																									
国庫支出金		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>調理・配送・配膳業務の民間委託による実施</td><td>189</td><td>188</td><td>回</td></tr> <tr> <td>②</td><td>献立表及び食育啓発紙の配布</td><td>22</td><td>22</td><td>箇所</td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	調理・配送・配膳業務の民間委託による実施	189	188	回	②	献立表及び食育啓発紙の配布	22	22	箇所	③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動								令和4年度	令和5年度	単位																	
①	調理・配送・配膳業務の民間委託による実施	189	188	回																							
②	献立表及び食育啓発紙の配布	22	22	箇所																							
③																											
県支出金																											
80		<課題、今後の取り組み> 今後も、各種マニュアルを遵守するとともに、「学校給食運営委員会」、「食物アレルギー対応検討委員会」、「給食物資選定委員会」の開催等により、誤食事故防止や食中毒防止、異物混入防止等の検証・検討を行い、安全・安心な学校給食の提供に努めます。																									
事業CD	655301	事業名	学校給食費多子世帯補助事業	所管課	学校給食センター																						
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無																				
款	10	教育費	<成果・実績> 多子世帯の給食費相当額の補助を行うことで、子育てに係る経済的負担の軽減を図りました。																								
項	06	保健体育費																									
目	03	学校給食費																									
予算額(千円)	4,500	決算額(千円)		2,706	(前年決算 1,074)																						
※主な特定財源		【補助人数内訳】 ①特別支援学校 9人 ②市立以外(県立、私立学校等) 55人 ③アレルギー対応、長期欠席 47人 合計 111人																									
国庫支出金		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>交付決定人数</td><td>89</td><td>111</td><td>人</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動		令和4年度	令和5年度	単位	①	交付決定人数	89	111	人	②					③				
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動								令和4年度	令和5年度	単位																	
①	交付決定人数	89	111	人																							
②																											
③																											
県支出金																											
81		<事業概要> 給食費の無料化を段階的に行うため、第2子以降の給食費相当額に対する補助による子育て支援を行いました。																									
		<課題、今後の取り組み> 今後も、多子世帯の給食費の補助を行い、多子世帯の子育てに係る経済的負担の軽減を図ります。																									

事業CD	785501	事業名	給食センター施設整備事業	所管課	学校給食センター																		
会計	一般会計			決算書頁	180	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 竣工後10年経過する給食センター施設の長寿命化を図るため、施設内部各所の劣化が進んでいる部分等から計画的に改修を行いました。 令和5年度は給食センター床下点検口増設工事・給食センター地下ピット配管緊急修繕工事を実施しました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 地下点検口増設工事</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 地下ピット配管緊急修繕工事</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 地下点検口増設工事	-	2	件	② 地下ピット配管緊急修繕工事	-	1	件	③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 地下点検口増設工事	-	2						件															
② 地下ピット配管緊急修繕工事	-	1						件															
③																							
項	06	保健体育費																					
目	03	学校給食費																					
予算額(千円)	23,270																						
決算額(千円)	22,814																						
(前年決算)	-																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
竣工後10年経過する給食センター施設の長寿命化を図るため、施設内部各所の劣化が進んでいる部分等から計画的に改修を行いました。																							
82		<課題、今後の取り組み> 学校給食センター長寿命化計画に基づき、令和6年度に地下ピット蒸気配管取替工事、令和7年度に地下ピット給水・排水取替工事、照明器具LED化工事、令和8年度に給水管保温工事・電気設備工事等を実施予定。																					
事業CD	083501	事業名	社会体育施設維持管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	182	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 安心・安全なスポーツ環境を提供するため、所管する12施設の適正な維持管理と管理運営に努めました。 ・所管施設数 12施設 ・年間利用者数 399,363人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会体育施設利用者数</td> <td>343,947</td> <td>399,363</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 社会体育施設利用者数	343,947	399,363	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 社会体育施設利用者数	343,947	399,363						人															
②																							
③																							
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)	27,948																						
決算額(千円)	25,809																						
(前年決算)	38,830																						
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
利用者に各社会体育施設を安心・安全に利用いただくために、維持管理及び管理運営に努めました。																							
83		<課題、今後の取り組み> 各施設の老朽化が著しく、施設や設備、備品の修繕が年々増加しており、修繕・改修の年次計画策定が急務となっています。 加えて、所管施設数や苦情、修繕対応件数が増える一方、職員数は従来より1名減となっており、担当職員の負担が過多となっています。																					

事業CD	083601	事業名	駅南総合スポーツ施設維持管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	182	資料	無																
款	10	<成果・実績>																					
項	06	安心・安全かつ快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者との連携を図り、適正な施設維持管理と円滑な管理運営を行いました。																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)		9,612																					
決算額(千円)		9,490																					
(前年決算		7,275)																	
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>																							
利用者に駅南総合スポーツ施設を安全かつ快適に利用いただくため、指定管理者と連携を図り、施設の適正かつ円滑な管理運営を行いました。																							
84																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 駅南総合スポーツ施設利用者数</td><td>58,025</td><td>57,280</td><td>人</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 駅南総合スポーツ施設利用者数	58,025	57,280	人	②				③					
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 駅南総合スポーツ施設利用者数	58,025	57,280	人																				
②																							
③																							
		<課題、今後の取り組み>																					
		キュービクルなど施設の老朽化が顕著となっており、修繕を要する箇所が増えています。また、競技用具などの備品も老朽しており、施設・備品ともに修繕や買い替えの年次計画策定が急務となっています。																					
事業CD	651501	事業名	社会体育施設一般管理事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	182	資料	無																
款	10	<成果・実績>																					
項	06	公共施設予約システムの運用を開始し、市民により便利に社会体育施設の予約と利用をしてもらい、市民のスポーツ振興に努めました。																					
目	04	社会体育施設管理費																					
予算額(千円)		14,102																					
決算額(千円)		13,328																					
(前年決算		9,435)																	
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金		1/3																					
<事業概要>																							
年間を通して利用者にスポーツに親しんでいただける場を提供するため、各社会体育施設の適切な管理運営を行いました。																							
85																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 社会体育施設利用者数</td><td>343,947</td><td>399,363</td><td>人</td></tr> <tr> <td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 社会体育施設利用者数	343,947	399,363	人	②				③					
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																				
① 社会体育施設利用者数	343,947	399,363	人																				
②																							
③																							
		<課題、今後の取り組み>																					
		各施設や備品の老朽化が著しく、修繕が年々増加しています。また、学校体育施設(夜間開放)は、公共施設予約システムによって運営している学区が少なく、大半は開放運営委員会と市のやりとりがメールや紙ベースでのアナログ方式であり、事務手続きの間違いの原因となり得ることから、学校体育施設(夜間開放)を含めた全施設のシステム運用実現に向け取り組みます。																					

事業CD	652101	事業名	健康ふれあい公園施設管理運営事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	182	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 安心・安全かつ快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者との連携を図り、適正な施設維持管理と円滑な管理運営を行いました。 指定管理者のノウハウを活かした施設管理と魅力ある自主事業を展開することで、利用者数の増加につなげました。 ・年間利用者数 147,298人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 健康ふれあい公園利用者数</td> <td>127,993</td> <td>147,298</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 健康ふれあい公園利用者数	127,993	147,298	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 健康ふれあい公園利用者数	127,993	147,298						人															
②																							
③																							
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
		予算額(千円) 52,600 決算額(千円) 49,562 (前年決算 52,815)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>		利用者に健康ふれあい公園を安全かつ快適に利用いただくため、指定管理者と連携を図り、施設の適正かつ円滑な管理運営を行いました。																					
86		<課題、今後の取り組み> 同施設の市民認知度は十分とは言えず、市と事業者が連携し今後の情報や魅力発信の充実を図っていきます。また、引き続き民間企業のノウハウを活かした適正な施設の管理運営を行い、利用者に安全で快適なスポーツ環境を提供します。																					
事業CD	785101	事業名	社会体育施設整備事業	所管課	スポーツ課																		
会計	一般会計			決算書頁	182	資料	無																
款	10	教育費	<成果・実績> 老朽化が顕著な安土B&G海洋センターを安全・快適・多機能に利用できる施設に改修するための実施設計を行いました。 【主な改修設計内容】 屋根改修、樋改修、外壁改修、塗装、土間改修、バルコニーデッキ改修、屋外階段改修、排水設備改修、浮き桟橋改修 等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 近江八幡市安土B&G海洋センター利用者数</td> <td>4,557</td> <td>8,276</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 近江八幡市安土B&G海洋センター利用者数	4,557	8,276	人	②				③			
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度						単位															
① 近江八幡市安土B&G海洋センター利用者数	4,557	8,276						人															
②																							
③																							
項	06	保健体育費																					
目	04	社会体育施設管理費																					
		予算額(千円) 3,199 決算額(千円) 3,199 (前年決算 21,222)																					
※主な特定財源																							
国庫支出金																							
県支出金																							
<事業概要>		老朽化が顕著な安土B&G海洋センターを安全・快適・多機能に利用できる施設に改修するための実施設計を行いました。																					
87		<課題、今後の取り組み> 改修工事を行うための財源として、B&G財団助成金交付が必要となりますが、助成の必要条件となる、センターインストラクター養成が、財政面でも人員面でも市を圧迫するもので、喫緊の課題と捉えていることから、今後、センター維持のためには、早急に方針を決定する必要があります。																					

事業CD	785105	事業名	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課																
会計	一般会計			決算書頁	182																
款	10	教育費	<成果・実績> ①運動公園野球場改修工事の開始 工期 令和5年9月～令和7年2月(2ヵ年) 契約額 21億8,790万円 令和5年度 前金払 1億9,160万円 部分払 1億7,588万円 ②運動公園体育館電気設備工事や承水路浚渫工事等の実施 6件 4,409.4万円 ③あづちマリエートのエアコンや屋根(雨漏り)修繕等の実施 13件 454.6万円	資料	有																
項	06	保健体育費																			
目	04	社会体育施設管理費																			
予算額(千円)	2,109,692	決算額(千円)		527,340																	
(前年決算	177,292																				
※主な特定財源																					
国庫支出金	1/2																				
県支出金																					
<事業概要> 第79回国民スポーツ大会開催に向けた競技施設の改修を行い、競技施設基準を満たすとともに、引き続き市民が安全で快適に利用できる施設にしていきました。																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 運動公園野球場改修工事</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 運動公園の施設改修・整備(野球場以外)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>③ 競技会場施設等の修繕</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>						事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位	① 運動公園野球場改修工事	1	1	件	② 運動公園の施設改修・整備(野球場以外)	5	6	件	③ 競技会場施設等の修繕	3	13	件
事業の目的(成果)を達成するため行った主な活動	令和4年度	令和5年度	単位																		
① 運動公園野球場改修工事	1	1	件																		
② 運動公園の施設改修・整備(野球場以外)	5	6	件																		
③ 競技会場施設等の修繕	3	13	件																		
<課題、今後の取り組み> 令和6年度にリハーサル大会を行うあづちマリエートと運動公園体育館については、競技施設基準を満たすための改修工事を昨年度までに完了。引き続き、より安全で快適に利用できるよう整備を進めます。 また、昨年度から続く運動公園野球場改修工事の適切な実施に努めます。																					
88																					

事業CD	785105	事業名	第79回国民スポーツ大会施設整備事業	所管課	国スポ・障スポ推進課
------	--------	-----	--------------------	-----	------------

野球場完成イメージ

